

特集

附属学校シリーズ（第1回）

目次

- グラビア …… 01～02
- 特集 附属学校シリーズ（第1回）
国立大学法人筑波大学附属 11校の紹介 …… 03～04
筑波大学附属小学校の「いま」 …… 05～08
- 平成27年「追悼のつどい」 …… 09
- 茗溪会の公開講座「花の魅力でおもてなし」西川綾子 …… 10～11
- 前茗溪会理事長 西野虎之介さんに聞く …… 12～15
- 筑波大学は今 …… 16
- 平成27年度 茗溪会地域組織表 …… 17
- 平成27年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 18
- 季刊誌『茗溪』正月号に誌上交流広告掲載ご協力をお願い …… 19
- 平成28年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 19
- 茗溪・東西南北 …… 20～21
- 茗溪学園だより …… 22
- 桐の葉のつどい …… 23
- 追悼録 …… 24
- 著書紹介 …… 24
- 広報 …… 25
- 編集後記 …… 25

茗溪



秋

2015

平成27年

no.1087



9月2日開催の茗溪会館リニューアルオープンパーティー

改修された玄関回り



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

ユーハイム®

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っていきます。



はぐくむ、大切なことすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

シダックスグループ営業開発本部

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビルレジ
TEL.03-5784-8853 (代表) FAX.03-5784-8842

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

〈4つのスーパーサイエンス特別専攻〉

- 環境エネルギー
- 生命科学
- ICTスペシャリスト
- 次世代自動車開発

2014年度
4月新設

科学的センスとクリエイティブな実践力を身につけた
理数系教員を養成する

STC サイエンス・ティーチャー
養成コース
SCIENCE TEACHER COURSE

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

理事長 中部 謙一郎
理事 河野 隆二(S47農)
顧問 清水 進一(S43理数) (神奈川茗溪会 会長)
監査室 矢野 正人(S53院修農) (同 事務局長)

工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科

創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科
[管理栄養士養成課程]

情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

追悼のつどい

平成27年9月5日(土) 於筑波大学
(P.9参照)



来賓挨拶 筑波大学学長代理三明康郎氏



遺影の前に挨拶をする江田昌佑理事長



一般社団法人茗溪会「追悼のつどい」



遺影の前に献花する遺族のかたがた



懇談会で挨拶する江田昌佑理事長



懇談会に出席された遺族の皆さま

巡る 筑波大学附属諸学校を その(1)



- 1 附属学校教育局
- 2 附属小学校
- 3 附属中学校
- 4 附属高等学校
- 5 附属駒場中学校
- 6 附属駒場高等学校
- 7 附属坂戸高等学校
- 8 附属視覚特別支援学校
- 9 附属聴覚特別支援学校
- 10 附属大塚特別支援学校
- 11 附属桐が丘特別支援学校
- 12 附属久里浜特別支援学校
- 13 心理・発達教育相談室
- 14 特別支援教育研究センター
- 15 理療科教員養成施設
- 16 筑波大学



筑波大学附属小学校を望む



総合活動の時間で生徒たちがゲームをする様子



著溪会の筑波大学支援事業の一つである学生生活活動支援助成金が、筑波大学の学生の団体に贈られました。7月23日、筑波大学学長応接室において江田昌佑著溪会理事長から永田恭介学長への目録贈呈式が行われ、引続き、総合交流会館において江田理事長から各団体の代表者（16団体）への交付式が行われました。今年度の助成金総額は300万円で、助成金が交付された団体は、次のとおり。オリエンテリング部／ライフセービング部／応援部 WINGS／管弦楽団／Realiam／つくばろぼとサークル／学び場さくら塾／HSCat／筑波学生文芸賞運営委員会／平成27年度筑波大学学園祭実行委員会／ふるさとつくばゆいまつり実行委員会／筑波大学大学院弓道コーチング論研究室／みんなで作る筑波大学産昆虫目録実行委員会／筑波大学ビッグバンドプロジェクト／食と酒 東北祭り実行委員会。

平成27年度著溪会学生生活活動助成金贈呈式・交付式



国立大学法人

筑波大学附属

11校の紹介

国立大学法人 筑波大学副学長
附属学校教育局教育長
石隈利紀



石隈利紀

1 はじめに

現在、筑波大学には11校の附属学校があることを皆様も御存じだと思えます。各附属学校の歴史は古く、附属小学校を始め、附属聴覚特別支援学校、附属視覚特別支援学校などは、135年を超える歴史があります。各附属学校の歴史は様々ではありますが、旧東京教育大学の附属学校として、その時々的大学生実習の場として、また自

由で、斬新で、一歩先に日本の教育をリードしているという輝かしい歴史があります。所在地は、図1に示されているように、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県の一都三県に広がっています。

第9代の永田学長は、嘉納治五郎の掲げた「師魂理才」を筑波大学の根幹に置き、世界の中で活躍できる学生を育てるために「トランスボーダー大学」の先駆者たらんと目指しています。

それを受けて附属学校11校（附属学校群）は、第Ⅲ中期目標・中期計画として世界に通用する「グローバル人材の育成」、ダイバシティを視野に入れた「インクルーシブ教育システムの構築」、未来型の学校を目指すために「附属学校群及び大学の連携強化」を大きな目標に掲げています。今回こうして、各附属学校の紹介を「著溪」に掲載できることを大変光栄に思います。私の方からは、附属学校全体について、これまでとこれからの附属学校群が目指す事柄について紹介させていただきます。

2 附属学校群の3つのスローガン

平成25年4月、私が教育長に就任してから、3つのスローガンのもとに附属学校の運営をしてまいりました。

- ① 子どもの人権を尊重し、最良の教育を提供する。
- ② 教職員が互いを尊敬し、働きがいを感じる職場を作る。
- ③ 筑波大学の一員として、教育と研究に貢献し、経営努力を行う。

第一に、「子ども」への教育の質の高さが筑波大学附属学校群の誇りです。これは教職員の自己管理と研修の積み重ねによって可能になります。自分を厳しく律することが必要です。

第二に、筑波大学附属学校群が教職員にとって働く意

欲が出る職場でありたいと思います。働きがいは、子どもも成長や教職員自身の成長や学校の雰囲気の上などで感じることが出来ます。互いの良さをみつけ、不適切なところは率直に指摘しあい、改善していきたいと思えます。

第三は、永田恭介学長が掲げている筑波大学のミッションの達成に貢献することです。そのミッションは「地球規模課題の解決と未来地球社会の創造に向けた知の創造とグローバル人材の育成」です。まさに附属学校群で貢献できるテーマです。

3 三拠点構想

大学が、国立から国立大学法人となりました。それに伴って、附属学校も国立大学の附属組織になりました。その中で、附属学校として目指すべき将来の方向を構想する柱として、考えたものがこの三拠点構想です。その結果、「先導的教育拠点」「教師教育拠点」「国際教育拠点」の三つの課題の基、各附属学校がそれぞれ取り組みを進めています。

「先導的教育拠点」については、

○附属小学校・中学校・高等学校と大学の教員から校正される「四校研」を中心に「小・中・高一貫カリキュラム開発の研究」に着手し、カリキュラムは作成できた。現在日々の教育実践の中で、修正の段階に入っている。来年の4月には、冊子になる予定である。全国で進められている小・中一貫教育や中高一貫教育における授業の充実に寄与することを目指している。

○附属駒場高校は「SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）」、附属高校と附属坂戸高校は「SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）」として、グローバル人材育成の先導的な実践校となっている。更に坂戸高校は国際バカロレアDPの候補校となり、認定を目指している。

○筑波大学附属学校には、知的障害、自閉症、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害のある児童生徒のための5つの特別支援学校があり、特別支援教育の先導的なりーダーシップを発揮している。更に普通附属と特別附属の連携では、各校で交流教育が日常化しているが、本年度は、インクルーシブ教育の一環として附属学校群として「長野県黒姫山合宿」を敢行し、成功裏に終わった。新しい試みではあったが、今後のインクルーシブ教育の在り方を提示できたと思う。障害のある子どもと定型発達の子どもが、共同生活で、相互に支え、手伝いながら、多様な人と関わり、共に苦勞し、喜ぶ経験をもつことができた。またそれを支える教職員も障害のある子どもへの「合理的配慮」とそれを含むすべての子どもへの「一般的配慮」の工夫について発見することが多かった。

○朝永振一郎生誕を記念して作られた「科学の芽」賞は、全国の小・中・高等学校の児童生徒から自由研究を募集し、5000件を超える応募がある。未来のノーベル賞を目指してほしい子ども達の意欲を大いに刺激している。今年度は、10周年を記念して東京キャンパスで、審査に携わっている大学の教員や、現場の小学校や高校の先生方を交えてシンポジウムを行った。

「教師教育拠点」については、

○教員免許状更新講習を附属教育局と附属学校の教員を中心に東京地区で実施している。会場は、茗荷谷の東京キャンパス、附属学校群でそれぞれ行われている。毎年2000人を超える参加者の講習後アンケートでも高い評価を受けている。10年ごとの学び直しは、教員にとって「自分の教育実践を見直す機会」となっており、筑波大学附属学校等での講習はその貴重な機会を提供している。

○茨城県久慈郡大子町との包括連携事業（教育分野）については、地域連携の視点から、附属の学校として取り組んできた。主には、附属の学校の資源である先進的な取り組みを紹介し、授業の交流、生徒児童間の交

流等を進めている。

○毎年附属学校には、全国および世界から多くの教員や教育行政担当者が、視察や研修で訪問する。附属学校群は、授業、行事など教育実践の「モデル」としての要請が多い。

「国際教育拠点」については

○附属学校国際教育推進については、附属学校のグローバル化に資する事業の推進を進めている。全附属学校の国際教育のカリキュラム・教育活動を整理する表を作成して、国際教育の活動例を示している。また諸外国の学校と姉妹校締結をし、毎年生徒間交流、教師間交流のグローバル化を着実に進めている。

○2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて全国でオリンピック・パラリンピック教育が進められているがどんな内容で進めるのかまだ十分に共有されていないのが実情である。筑波大学附属学校群では、筑波大学体育系真田久教授らと共同で、オリンピック・パラリンピック教育を全国に先駆けて進めている。オリンピック・パラリンピック教育の実践内容について、オリンピックフォーラムを大学と連携して開くなど大きな成果をあげ始めている。更に筑波大学は、文部科学省の「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」の委託を受け、オリンピック・パラリンピック教育を全国に発信している。

4 今後の将来構想

日本の学校教育における課題は、多様化・複雑化してきています。学力や問題解決能力を開発向上させる教育と同時に、いじめ、不登校等への対応、また発達障害等のある子どもへの合理的配慮などが求められています。文科省はこれらの状況で学校教育の水準を維持発展させるために、スクールカウンセラーやICT支援員など専門的スタッフを含めた「チーム学校」を提唱して準備し

ています。筑波大学附属学校群は、総合的な知的能力（総合的知能）を育てる教育を核として、多様な人と共生する能力を育てることを目指し、グローバル人材の育成とインクルーシブ教育システムの構築に関する教育研究を推進していきます。その過程において、教師力、スクールカウンセラーら専門スタッフの力、そして多様な人材の教育活動のコーディネートを行う教員の力の育成について、新しい方法を提供したいと思っています。



● 広報誌名「ポロニア」の由来

「ポロニア」とは、「桐」の属名であり、Paulowniaと綴る。本誌を「ポロニア」と名づけたのも、筑波大学の紋章に「五三の桐」が使われていることに拠る。しかし、ポロニアを付与した理由が他にも存在する。近代西洋医学を日本に伝えたシーボルトは、日本において、桐が瑞祥の象徴と見なされ、皇室をはじめ高貴な家柄の紋所として用いられていることを知り、Paulownia（後援者のオランダのパウロウナ公妃に因む）こそが植物の桐のイメージを表現していると考え、桐の学名（Paulownia Empress）に定め、パウロウナ公妃に献呈した。ポロニアの故事来歴やエピソードに基づき、ポロニアと命名した。

筑波大学附属小学校の「いま」



筑波大学附属小学校は、文京区の茗溪会の前面に位置し、「教育の森」に囲まれ、旧東京教育大学のキャンパスに位置する。古い名園・占春園や、嘉納治五郎先生の銅像のある場所としても有名である。

現在は、卒業生が全国から上京の折に親しく訪れる処の一つとされている。

本校は、明治6年に師範学校の附属小学校として設立され、平成25年には創立140周年を迎えました。この間、明治・大正・昭和・平成の各時期を通じて、その実践研究を通し、わが国初等教育界に大きな足跡を残してきました。

この伝統を受け継ぎ、教育の現代的課題の解決に取り組み一方で、伝統ある学校行事などを通じて、豊かな人間性を育み、健康で活力ある創造的人間の育成をめざす教育活動を展開しています。

1 研究活動の使命

本校は、大学に附属して小学校教育の理論と実際について研究することを使命としています。そして、その成果は各地の公立学校の教育活動への考え方や、それに伴う内容や方法等に大きな影響を与えているものと自負しています。

また、大学生の教員志望者に対する教育実習の場の提供をはじめ、現職の先生方の全国各地からの長期研修の受け入れや、外国の教育学者等の教育視察への対応および公開授業や研究発表会・研修会等、その門戸を幅広く開放しています。さらに、これからの教育のあり方を絶えず模索し続け、先進的な実践活動の研究に取り組んでいます。

毎年、6月と2月にそれぞれ2日間にわたって授業公開と研究発表会を開催しています。

6月には本校の1年間の研究成果の発表を、2月には全国の研究者とともに研修会の形式で発表会を実施しています。特に2月の研修会は、本校の各教科研究部と全国の先生方との繋がりを活かした特色のある研修会となっています。

平成9年には、文部省から『研究開発学校』としての指定を受け、平成11年までの3年間をかけて「教育課程の基準改善」のための研究を続けました。

また、平成15年には研究会100周年を記念して、附属小の教育課程を「筑波プラン」(全10冊)として出版しました。平成20年には「子ども力を高める」、平成24年には「独創」の教育」を出版しました。

2 日々の授業づくり

◆教科・道徳の指導

教科・道徳の指導は文化を伝承し伝達するとともに、新しいものを創造する能力を育てるうえで極めて重要な教育活動です。本校では過去の伝統を背景に、全教員が日夜研究に励み、全力を傾けて指導にあたっています。

指導の内容は、文部科学省の定める学習指導要領に準拠しながら、時代の進展にかんがみて、新しい指導内容をたえず開拓しつつ教育にあたっています。

指導の組織としては、学級担任制と併せて教科担任制も取り入れています。特に、社会・理科・音楽・図工・家庭・体育では、その教科を専攻している教員がほぼ全ての学級の指導にあたっています。

その他、研究の目的によっては他学級の児童を直接指導した上での研究も行われているので、児童は中学校や高等学校と同様に、各教科をそれぞれ専攻している教員の指導を受けることができます。

◆総合活動の時間

子どもたちは総合活動の時間が大好きです。それは、自分たちが本当にやりたかったことに十分に取組みることができるところです。そこには、なににごとによらず自分の頭で考え、自分の体を使い、問題の解決に取り組む主体的・創造的な子どもの姿があります。

その中で子どもたちは仲間がいることの素晴らしさを感じます。仲間の励ましがあるから、いろいろな可能性に向けて挑戦している自分を発見するのです。総合活動は、そのような子どもの生きる喜びを実現してくれます。本校では、昭和46年からこの総合活動の時間をつくり、これまで多くの実践を積み重ねてきました。



苗さし

◆英語活動の推進

本校の英語活動は、3年生から6年生まで週1時間行われています。

国際化社会に生きる子どもたちにとって、相手と良好な関係を築きながら自己表現をすることが今後ますます必要となってきます。

英語活動の時間は、その第一歩として簡単な英語を使いながら自分の考えを伝えることはもちろん、積極的に相手と関わりとするコミュニケーション能力の向上を目指しています。授業では、英語の歌や身近な表現に少しずつ触れながら、英語を聞くこと話すことに慣れ親しみ、体験的に言葉を学ぶ経験を積み重ねます。

そのような活動を通して、日本語でも英語でも自己表現が好きな子どもを育てたいと考えています。



3 特色ある先進的な活動

◆海外への教育発信拠点校・外国との教育交流

本校は、創立以来の長い伝統に加え、先進的な学校としての教育内容や教育施設が整っているため、海外の教育関係者や報道関係者、その他教育に関心を持つ来訪者が多数います。

ここ数年は、JICA（国際協力機構）への協力として開発途上国へ教育支援や具体的な指導を行なって参りました。また、APEC（アジア太平洋経済協力会議）への協力で、「授業研究」を初めとする様々な支援もしています。

海外の方々が本校に来て学ぶことはもちろんのこと、本校教員が海外の学校に向いて実際の授業や講演なども行なっています。最近では、文部科学省の指定を受けて「拠点システム事業『国際教育協力イニシアティブ』」として開発途上国へ派遣される青年海外協力隊への指導も行い、小冊子にまとめました。

海外の教育関係者の来訪は、ここ4～5年の間に中国、韓国、フィリピン、マレーシア、インド、アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、ガーナ、チリ、ドイツ、南アフリカ、ホンジュラス、エルサルバドル、カザフスタン、メキシコ等に及んでいます。その他、これまでの外国人参観者との交流による教育界への奉仕も少なくありません。また、国際的な教育研究会の発表会場にもなっています。



◆ 研修生への助力・教育実習生の指導

附属小学校の使命の1つに現職教育があります。本校で研究する教員は全国各地に及び、常時平均5〜6人の研修生が研究を行っています。そして毎年数十人の教員が研修を終了し、各地での指導に当たっています。

研究は、初等教育の原理の究明から各科の学習指導法・評価法の実践研究等、広範多岐にわたっています。初等教育養成のための教育実習生も随時受け入れ、指導に当たっています。

◆ 研究の交流

本校は、全国的な視野に立ち、レベルの高い研究成果を提供すべく、本学学校教育部、各学系、附属中学、附属高校、各地の小学校等と密接な関係を保ちながら研究を進めています。

特に本校の協力学校とは同一テーマによる共同研究を行い、現地を訪問したり、現地より来訪を受けたりしています。そして実験や調査のデータを集計して資料を交換しあっています。

◆ 講師の派遣

本校の教員は、それぞれの研究部会に所属して研究を続けていますが、各地の学校の招聘に応じて、広く指導に当たることに努めています。

指導内容の主なもの、教育課程作成に関する指導、授業に対する指導、学校環境の整備とその理論の指導、研究のための調査に関する指導、その他家庭との連絡等、小学校教育全般にわたっています。

◆ 月刊「教育研究」

明治37年創刊以来、教育研究総合雑誌として、初等教育の指導的役割を果たしてきました。

本校教員の同人誌であると同時に、広く内外の学者や実践者の論文、研究報告を紹介し続けています。平成16年4月で100周年を迎えました。

4 特色あるPTA活動と後援会

本校のPTA活動は「若桐会」という名称で活発な活動をしています。児童や学校活動を援助するだけでなく、本校独自の使命である先駆的教育の実験・研究活動について協力をしています。

学校寮の管理運営、夏休み中の水泳学校の共催、備蓄食料の保管、防災訓練への協力、本校児童向け学用品の製作販売、文化活動の開催、広報誌の編集配布、文化祭の主催等、多様な活動が若桐会により運営されています。また保護者は、児童の6年間在学中2年間はクラス役員として各担任教員の指示のもとで、クラスごとに教育活動のお手伝いをしています。

◆ 文化祭（若桐祭）の運営

児童の学校生活における思い出の中で、毎年必ずバスト3に入っているのが「若桐祭」です。春から保護者で構成される担当委員を中心に準備が始まり、当日は教員や保護者全員が積極的に運営に参加しています。イベントやアトラクション数も30を越え、保護者が創意工夫を凝らしたのから外部講師を招いて行う本格的なものまで、質の高い内容を毎年企画しています。

◆ 学校寮（清里若桐寮）の管理運営

清里の大自然に囲まれた広大な敷地に保有している若桐寮の管理・運営を行っています。毎年この若桐寮に3年生から6年生までがクラス単位で合宿のために訪れます。

恵まれた自然の中でクラスだけで過ごす3泊4日の合宿は、児童の連帯感をより深め、計画性・行動力をより養い、心に残る楽しい思い出となっています。児童合宿に使用されない期間は、児童と保護者の家族旅行および卒業生が利用できます。



学校寮



清里合宿

◆夏休み水泳学校の共催運営

7月下旬から8月上旬に開催される水泳学校では、真っ黒に日焼けした児童が毎日楽しく泳げるように、コーチの採用面接、教育研修、清掃準備等を学校と共催し、運営する活動を行っています。

卒業生をコーチに迎え、教員と協力しながら児童の体力づくりを目的とし、指導にあたっています。

各学年最終日に行われる缶ジュース取りのイベントでは、さらさら輝く水しぶきの中で笑顔の眩しい児童に出会うことができます。



富浦合宿



生徒たちによる先進的な活動が、諸方面に見ることが出来る

◆教育活動を支える後援会

本会は、「筑波大学附属小学校の教育および教育研究や児童の教育振興を後援する」ことを目的として平成12年に設立されました。

その活動は、児童の学習に必要な教育資料等の整備拡充、教育研究に必要な資料、初等教育研究・調査・普及等を後援するための、募金活動と経費の分担を行います。

沿革

明治 6. 1. 15	神田宮本町旧昌平饗あとに、東京師範学校の附属小学校として設立
6. 3	男子72名、女子32名を入学させ開校
19. 4	東京師範学校を高等師範学校と改称
21. 9	附属小学校を附属学校と改称 小学科の他に尋常中学科を置く
23. 4	校舎を神田一ツ橋通町に移す
29. 12	尋常中学科を分離 小学科を附属小学校と改称
30. 1	第2部尋常小学科 第2部高等小学科を創設
35. 3	東京高等師範学校附属小学校と改称
37. 3	第3部を小石川区大塚窪町の新築校舎に移す
42. 2	第1部、第2部を小石川区大塚窪町校舎に移す
大正 9. 4	全校を5部に分ける
昭和 2. 4	第2部高等小学校を廃す 第4部高等小学校課程と第3、第4部尋常小学校の学級編成を改める
11. 2	新校舎（現1号館）落成式
16. 4	東京高等師範学校附属国民学校と改称
20. 3	新潟県南魚沼郡中の島村に集団疎開（10月まで）
20. 8	終戦 高等科を廃止
24. 5	東京教育大学附属小学校と改称
31. 4	低学年用新校舎、運動場落成
38. 3	2号館落成
46. 3	3号館落成
48. 1	創立100周年記念式典
48. 3	新体育館（現第2体育室）落成
53. 3	東京教育大学閉学
53. 4	筑波大学附属小学校と改称
63. 4	1号館から順次改修工事
平成 6. 3	校舎全館改修工事完成
15. 1	創立130周年記念式典
16. 4	国立大学法人筑波大学附属小学校となる
16. 6	初等教育研究100周年記念発表会



研究発表会

平成27年

「追悼のつどい」

今年も筑波で開催

「追悼の集い」は、従来、東京・大塚の茗溪会館で開催してきましたが、昨年度から会場を筑波大学に移し、今年度も9月4日(土)に大学会館内の特別会議室で開催されました。昨年から本年夏までに、ご逝去された遺族の方々に連絡いたしましたところ、14家族、24名のご参列をいただきました。本会からも多数の理事が参列しました。遺影のみの参加の17名を加えて31名の遺影が飾られた会場で午前11時半に開式され、参列者一同が遺影に黙祷後、江田昌佑理事長が「追悼の辞」を述べられました。筑波大学学長代理として出席された三明康郎副学長が来賓のご挨拶をされました。その後、一同が献花し、式は終了しました。12時半からは会場を移して「懇談会」が開催されました。江田理事長の挨拶のあと、懇談の席がもたれ、遺族の皆様からスピーチいただきました。ここに、その一部を紹介します。

故・土田 利丈様(昭和16体一卒)



奥様 土田一枝様
夫は金沢の中学でも高師の時代もバレーボールの選手として活躍したそうです。卒業後は現在の陸前高田高校(春高バレー)で優勝したこともあるバレーの名門校。当時は女学校)に就

職しバレーを教えました。その後、兵隊として満洲に渡りましたが、右足を負傷し、壊血症となり兵役免除になりました。戦後は金沢で税理士の資格をとり土田税務会計事務所所長として働きました。5、6年前から歩けなくなり、昨年93歳で亡く

なりました。

中学から高師、そして陸前高田女学校教員時代のバレーボールの話をいつもしており、バレーボール一筋の人でした。

故・木野 嘉明様(昭和20年文一卒)



奥様 木野美幸様

夫は高師卒業後、東京都の教員となり、その後、文理大に進学し、大東文化大学で教えていました。今年1月に91歳で亡くなりました。今月初めて筑波大学を訪れ、広いキャンパスを亡くなった主人と一緒に歩いている気分になり、追悼の集いに参加して良かったと思っています。

故・吉田 寅様(昭和25年文理)



奥様 吉田八重子様

夫は文理大在学中『学徒出陣』で最初山梨県に駐屯した部隊に配属され、後に島根県の部隊で鉄砲を担いで訓練に明け暮れているうちに終戦を迎えたと聞いています。都会では食べる物に困っていた当時、島根では農家の人からおにぎりの差し入れがあり、ひもじい思いはしなかったそうです。

戦後、文理大に復学して、文理大の閉学に際しては、金時計をいただき、特別研究生として大学に残りました。私立の高校、学芸大学の付属高校の教員を勤めながら、東洋史の研究を続け、その後、筑波大学の助教授から教授になりました。遊ぶことがなく、仕事一筋の人でした。昨年5月に88歳で亡くなりました。

故・太田 昭様(昭和26年文四卒)



長女 荒井俊子様

台湾の嘉義で生まれ、嘉義中を卒業した父は、引き揚げ後に高師に入学し、卒業後は東京都の中学の社会科の教員となり、高校へ移って日本史と世界史を教えていました。進学校の小松川高校の勤務が長かったのですが、受験のための授業は一切せず、個性的な授業をしていたようです。父は平成25年8月に85歳で亡くなりました。

故・山本 良久様(昭和39年東京教)



奥様 山本美智子様

北海道の恵庭市(札幌と千歳の中間)から参加しました。夫の在学中はまさに「60年安保」の時代でした。平成25年の12月に突然亡くなりましたが、あと10年は一緒に生活したかったと思います。

夫は大学卒業後、故郷の名寄高校に就職し、私も名寄高校の家庭科の教員でしたので結婚しました。夫は東京教育大学と「茗溪会」は自慢の種で、私や息子・娘の前でいつも思いを語っていました。指導主事や北海道教育研究所にも勤めましたが、教職員のための職員団体(組合)の仕事にも熱心でした。従来、北海道では、職員団体(組合)の役員をやった人には管理職の仕事は回ってこなかったのですが、夫は初めて高校の校長となり、先鞭をつけたことも誇りにしていました。本日は「追悼の集い」を開いて下さり、誠に有り難うございました。

茗溪会の つくば地区公開講座

「花の魅力でおもてなし」

講師 NHK趣味の園芸 講師

水戸植物公園園長

西川 綾子（茗溪会 理事）

（平成27年7月18日（土）
筑波研修センター）



地元のタウン誌のほか朝日新聞でPRしたところ、私
が現在行っている朝日新聞茨城県版の連載コラムの愛読
者の参加が多くみられ、60名ほどの参加がありました。
では講演の内容をお知らせしましょう。

1 はじめに

水戸市の郊外に豊かな水と森に囲まれた田園風景の中
に、ひっそりたたずむ庭園があります。英国のコンサル
タントが設計し、自然風景のように作庭された英国風景
式庭園「七ツ洞公園」です。レンガやガーデンオーナメ
ントは英国から輸入した物で、日本では珍しい「廃墟
フォーリー」もあります。

こだわりの庭園は平成11年（1999年）に開園しま
したが、その管理は高度な園芸技術が必要とするこ
もあり、植栽された草花はやがて老朽化し、花が少なく寂
しい庭に変わってしまいました。

そこで2012年から、季節の草花が咲くエリア「秘
密の花苑」の再生着手を始め、七ツ洞公園を蘇らせるプ
ロジェクト「七ツ洞公園再生物語」を始めました。映画
「テルマエ ロマエ」のロケ地にもなり、花が咲いて、人
が集うガーデンに変化していく様子を紹介します。

2 七ツ洞公園とは

水戸市の北西部に位置し、全体計画14・7haのうち、
約8haが完成しています。周囲の森と大小5つの池、水
の流れに沿った園路、英国庭園を象徴するパビリオン、
緑と水が美しい自然環境を活かした庭園は風景画を切り
取ったような美しさです。設計はデレック・ラブジョイ・
パートナーシップで、世界中で活躍している英国のラン
ドスケープのコンサルタントです。

英国庭園と言えば単に花が咲き乱れるガーデンをイメ
ージする方が多いでしょうが、それは19世紀以降に英国
で流行したガーデンスタイルです。英国庭園史をひもと
くと、18世紀の英国では、フランスの整形した幾何学的
な庭園に飽き、もっと自然を感じる風景画を切り取った
ような自然風景式庭園が流行し、人工的に廃墟を造るこ
とも流行しました。石積みの井戸、人工的に造った廃墟
フォーリーは、まさに18世紀に英国で流行したガーデン
スタイルそのものです。

18世紀からの英国庭園を楽しめ、七ツ洞公園の中央を
うねるように流れる水（サーペンタイン）や現存する自
然を最大限活かした庭、それが七ツ洞公園なのです。

3 秘密の花苑

その庭園の中に、直径約50mの円形花壇で生け垣やレ
ンガで4つのエリアに分かれた秘密の花苑があり、植栽
計画については綿密な図面が残されています。



4つの区画（A、B、C、Dエリア）はテーマの色が
あり、「植物は春、夏、秋、冬の季節を反映し、植物に関
連のある色彩が1年を通して興味をそそる。」のコメン
トがあつて、118種類の植物が用いられていました。

各エリアの植物は花の色で選ばれていますが、これら
は一度に咲くわけではありません。選ばれた植物を分析
すると、春から初夏に開花するものが多く秋咲き宿根草
が少ないのが特徴でした。夏から秋に秘密の花苑を訪れ
たら、咲いている花、ほとんどないでしょう。

パーゴラはキングサリを使う設計でしたが、水戸では
長くて2週間の開花期間ですから、ほとんどがグリーン
か、落葉した枝を観賞するようになります。

素晴らしい設計書を手にしたものの、理想と現実はか
なりギャップがあり、Cエリアは10年が経過するとドク
ダミが繁茂する庭に変わっていました。

4 七ツ洞公園再生のはじめ

七ツ洞公園は水戸市役所の公園緑地課が管理していま
すが、2012年から秘密の花苑の部分だけ私が所属す
る植物公園で管理を携われるよう内部の組織を変え、全
体の再生プロジェクトの指導を筑波大学芸術学群の鈴木
雅和先生に相談し、七ツ洞公園の奥深い設計の解説から
花苑の土壌分析や改良、再生のヒントを多岐にアドバイ
スをいただき、今も継続中です。



七ツ洞公園のパビリオン

そして秘密の花苑に植えるバラの品種はイングリッシュローズに決めました。イングリッシュローズとは

とで、いわゆるブランドもののバラです。ボタンを思わせるような花びらが多いものが多くソフトな花色や香りも魅力です。比較的病害虫に強くて栽培しやすく宿根草との相性が抜群に良かったからです。テクニカル エキスパートの平岡誠さんに七ツ洞公園に来てもらい、その場所に適した品種選定をお願いしました。関係者が集まった12月、「ここはホワイトガーデンがいいね。」彼が言った一言で、花苑の中央部分は白い花や葉を集めたエリアに決定しました。



秘密の花苑で咲くイングリッシュローズ

はなく、正当なイングリッシュローズを指すなら、秋咲きセージは使わないのかもしれない。新しいタイプのイングリッシュローズを指し、水戸オリジナルのガーデンスタイルを貫くことにしました。手前の部分には1年草を多めに使って花が絶えない工夫を、初夏から秋はセージを上手に使いこなしてバラがない時期でも、別の花で見所を作る、そして葉が美しいカラーリーフレックスを使って苑内全体が明るくする工夫を考えました。

5 イングリッシュローズを植える

2012年の初夏、雑草が多く茂っていた花壇の植物を全部移植し、排水が悪かった土壌は有機物の混入や酸度を調整して改良を行い、10月1日に12種類のセージを中心に花苑に苗を植えました。10月中旬から次々開花し、霜が降りる11月半ばまで花を楽しめました。

3月にイングリッシュローズを植える事に決め、基本は1品種3〜5本をまとめて植え、その周囲を開花が同じような宿根草や球根類を植えるデザインを考え、バラの品種はデビッド オースチン ロージズ社の平岡さんに決めてもらい、最新品種を寄付していただいたので贈

呈式と記念植樹を行いました。近所の小学生や希望者が参加し、100名を超える皆さんが苑内にイングリッシュローズの苗を植え、マスコミ各社も取材をして下さり、人が訪れない寂しかった秘密の花苑は、素晴らしい再出発を迎える事ができました。

記念植樹を行ったとき、花苑の管理を行うボランティアを募集したところ、バラが好きなので勉強したい方、朽ち果てて行く花苑を見るのがつらかったのでお手伝いしたいという方など約120名の希望がありました。水戸イングリッシュローズクラブを略してMEGと名付け、月2回、秘密の花苑に集まって園芸作業を行うことになりました。毎回40名以上の参加があり、班に分かれて作業を行います。イングリッシュローズのエアレーション、花がら摘みはもちろん、植え替えや芝切り、支柱立てなど、すべて行います。

しかし月2回の実習だけでは、管理はとても追いつかず、近所に住む会員が自主的に花がら摘みや、当番制で夏の水やりを行い、何とか美しい状態を保っています。

6 これから

皆さんの愛情にささえられ、花苑はみるみるうちに花でいっぱいになってきたので、昨年は七ツ洞公園が開園して15周年だったので記念イベントを行いました。NHK趣味の園芸ナビゲーターの三上真史さんをゲストにした企画は、東京はもちろん関西からも熱烈なファンが訪れ1日で6500人を超える開園以来最高のにぎわいでした。あわせて行ったフラワーマーケットも大好評で、地域の活性化につながる重要なイベントになってきました。

課題は山ほどありますが、今後の私の課題は英国庭園の正しい観賞を多くの人々に理解していただくことと、自分の後継者の育成です。七ツ洞公園の素晴らしさ、自分が育った水戸にある自慢できるガーデンをみんなで見守ってもらうため今後は人材育成に力を入れていくべきと考えています。花の魅力でもてなしていただける水戸を目指し、七ツ洞再生物語は、まだまだ続いていきます。

前茗溪会理事長 西野虎之介さんに聞く

茗溪会理事長・茗溪学園理事長としての
思い出と今後について——

(聞き手 茗溪会理事・五味田 優)



西野虎之介さん(左) 五味田 優(右)

西野虎之介さんは平成19年11月から5年間にわたって茗溪会理事長として活躍され、また、茗溪会が設立した茗溪学園理事長としても卓越した指導力を発揮され、今年7月茗溪学園の理事長も退任されました。

そこで、在任のさまざまな思い出をおうかがいしながら、茗溪会が、東京高等師範学校・東京文理科大学・東京教育大学・筑波大学の同窓会として、これからますます発展していくためには何が求められているかをお聞きしました。

聞き手は茗溪会理事の五味田優が担当いたしました。

茗溪会とのつながりの戸惑い

教職に進む学生が多い中で銀行に就職

西野さんは昭和28年に東京教育大学の農学部を卒業され、銀行に就職されました。その頃の東京教育大学の卒業生は教職に就く方が多かったと思うのですが、西野さんが金融界に進まれることについては、周囲の

皆さんの目にはどのように映っていたのでしょうか。

西野 東京教育大学は東京高等師範学校からの伝統と歴史がありますから、多くの学生は教職をめざして入学してきます。

農学部に入る学生も教職をめざす学生が多かったのです

が、他の学部と少し違っていたのは、地方の地主の子弟も多く、「農村改革などを学ぶために入学した」「卒業後は故郷に帰って村のために頑張る」というような雰囲気がありました。私も状況としては似たようなものでしたが、ある教授から「君には農村経済の研究を勧めたい」というアドバイスをいただき、その先生に付いて農村経済の研究をしました。

そして卒業時には、学生時代の研究を生かすために農林省(当時)を志望し、内定をもらっていたのですが、父親から「長男が帰ってこないことはまかりならん」と叱られ、地元の銀行に就職することになったのです。

そのような経緯があつて私は銀行に勤めることになりましたが、教職に就く学生が多数を占めるなかでは銀行に進む学生は珍しかったのではないのでしょうか。

でも銀行に勤めてからは、「農学部の割には経済に強いな」といわれました。

農学部でも農村経済が専攻ですからそうでなくてはまずいですよね。(笑)

はじめて参加した

「茗溪会日本橋」の集まりでの戸惑い

西野さんが茗溪会と関わりを持つようになったのはどんなきっかけがあったのですか

西野 銀行に入り私が最初に配属されたのは東京支店(日本橋堀留)でした。そこに茗溪会の先輩がやってきて「何月何日に「茗溪会日本橋」の集まりがあるから出てくるように」といわれました。

そして当日、その集まりで私の紹介があったのですが、その紹介の仕方が、笑いながらではありませんでしたが「こいつ西野は茗溪の裏切りものだが……」というものでした。

教育界に進むのが正道、銀行に就職するなんて裏切りものというような紹介の仕方には、半分は冗談だと



西野虎之介さん

「筑波大学
経営協議
会」の委員

「筑波大学
経営協議
会」の委員

しても大変戸惑いを感じました。
もちろん私も、それまでの茗溪会の活動を支えてきたのは教育界に進んだ人たちであると承知していましたが、私たちが入学した頃の東京教育大学では「第一回生は後輩のために教職にこだわらずいろいろな分野に活躍の場を求めよ」と教授たちに激励されていたから、茗溪会とのそのような出会いには違和感を覚えずにはいられませんでした。

茗溪会理事長に推挙される

なぜ私が理事長に！

——はじめての茗溪会との出会いの時に、茗溪会のあり方に違和感を覚えた西野さんが、鶴川理事長が亡くなった後の理事長に推挙されました。

この時のお気持ちはどんなでしたか。

西野 これまでお話ししてきたように、私には茗溪会では傍流意識といえますか、茗溪会の中心からは遠いところにいるという意識がありましたから、日本橋でのはじめての出会いから50余年の歳月がたったといっても、その私を鶴川理事長の後任に推挙するとの理事会の

「青天の霹靂」でした。

ただ鶴川

理事長とは、

平成15年4

月に「筑波

大学運営諮

問会議」や

「筑波大学

経営協議

として席を並べていましたし、また「筑波大学創立30周年記念募金委員会」では正副委員長として苦労するなど一緒に仕事をする機会も増えていきましたので、茗溪会のあり方などについてもいろいろ話をするようになっていました。
そして、平成18年5月に鶴川理事長から「君も茗溪なんだから茗溪会の仕事も手伝え」と言われ、茗溪会の理事を引き受けることになり、その時から茗溪会の活動に深く関わるようになりました。
こうした鶴川理事長との出会いが、私の茗溪会理事長推挙のきっかけになったのではないかと思います。

理事長就任にあたって考えたこと

——西野さんが理事長に就任を求められていた時代は、茗溪会も筑波大学の卒業生が多くなり、新しい茗溪会を構想しなければいけない時代に入っていました。

理事長就任の要請があった時、どのようなことを考えましたか。

西野 理事長就任の要請があった時、初めは私のような傍流が引き受けていいのか悩みました。でも理事長就任をお受けしようと思ったのは、理事になる前から鶴川理事長の「茗溪会に対する熱い思い」や「茗溪会の課題」などについていろいろかかっていたし、ここで逃げてしまつては尊敬する鶴川理事長に申し訳ないという気持ちが強かったからです。

ご承知のように、筑波大学は「新構想大学」として開学し、従来の学部・学科の区分を超えた学群制を採用するなど先駆的な教育研究活動を展開してきました。さらに現在では世界のグローバル化に対応して「未来構想大学」を目指しています。筑波大学の卒業生もいまや教育界に止まらず、さまざまな分野で活躍するようになっていきます。

そして茗溪会の会員も筑波大学の卒業生が圧倒的に多くなり、それまでの茗溪会のあり方が問われるようになってきていましたから、新しい茗溪会像を構想す

るには、むしろ永年経済人としてやってきた私の経験が役に立つのではないかと考え、理事長を引き受ける覚悟を決めたのです。

茗溪会の抱えるさまざまな課題への挑戦

「公益法人見直し問題への対応」

理事長になられてから、西野さんはさまざまな課題に挑戦されてこられました。それらの課題の中でも、公益法人見直し問題への取り組みは大変だったのではないですか。

私は、西野さんが「公益法人改革にあたって、これまでの茗溪会の活動を見直し、同窓会としての茗溪会のあり方を根本に立ち返って考える好機ととらえた」とお話されていたことを覚えています。

西野 公益法人見直しにあたっては、茗溪会を公益法人として存続させることができるかどうかということが一番の課題でした。しかし、公益法人としての要件を満たすことのハードルが高く、それまで一体で運用していた「茗溪会」「筑波学都資金財団」「茗溪学園」を分離・独立させ、「茗溪会」と「筑波学都資金財団」は一般社団法人として、「茗溪学園」は学校法人としてそれぞれ別の事務局体制をとるという選択をしました。しかし、公益財産の認定とその償却期間の問題が残り、ややスリリングな局面もありましたが、公益法人見直し問題も何とか乗り切ることができました。

「会員増・会費収入のために必要なこと」

西野理事長の時代から、会員増による会費収入の増加は大きな課題でした。

現在は江田理事長の下で「茗溪会拡充キャンペーン」を実施し、会員増・会費収入増等による財政基盤の安定・強化に取り組んでいます。まだ目標には遠いというのが実情です。今後この問題にはどのような取り組みが必要でしょうか。

西野 「卒業生データ」や「会員名簿」は茗溪会の最大の資産ですが、平成17年の「個人情報保護法」の施行以来、これらの作成・配布・利用が難しくなりました。

しかし、新規会員の募集、財政基盤の強化ができないということは同窓会にとって死活問題です。でも筑波大学は、近年茗溪会の会員募集に協力的に動いてくれていますし、地域組織（旧支部）総会への筑波大学代表のご出席も得られるようになったということももうかがい嬉しく思っています。

茗溪会は、これからも筑波大学との関係をより密なものにし、教職をめざす学生だけでなく一般企業への就職を求める学生への支援方法を工夫することにより、その存在をもっと学生にアピールしていくことが必要だと思えます。

以前この3月まで筑波大学の副学長であった清水一彦先生と対談させていた時に、大学ももっと実践的なキャリア教育や進路選択を視野に入れたカリキュラム編成に力を入れる必要があるということをお話させていただきました。

この点に関しても、さまざまな分野で活躍する人材を数多く抱えている茗溪会は十分に協力できる体制をつくれるのではないのでしょうか。

【茗溪会は筑波大学の同窓会組織の中心になれるか】

筑波大学には茗溪会だけでなく、いま数多くの同窓会が存在しています。これらの同窓会と茗溪会との関係について西野さんは理事長としてどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

西野 筑波大学の傘下にはいま12の同窓会が立ちあがっている聞いていますが、茗溪会の本部機能を「つくば」へ重心移動し、施設のにも「見える化」を図っていかなければ、茗溪会が数多い同窓会の中心組織になるのは難しいだろうと思います。

ですから私は、この問題は各同窓会を「校友会」形式で大きく包み込んでいく方がいい、そして世代交代

をしながら、そういう方向に動いていくのが望ましいと考えていました。

そして、茗溪会も筑波大学の卒業生が多数を占めるようになった実態を反映させるために、徐々に「筑波大学化」を図っていく必要があると考え、地域組織にはご迷惑をおかけしたかもしれません。

理事の約半数を筑波大学の卒業生になっていただきました。

茗溪学園理事長ウツノの思い

西野さんは茗溪会理事長の時から茗溪学園の理事長を兼任されていましたが、まず茗溪学園設立の経緯からおうかがいしたいと思います。

茗溪学園設立の経緯

西野 東京教育大学が筑波に移転することが決まった時、附属学校の移転の話もあったのですが、さまざまな事情で附属学校の筑波移転の話は立ち消えになりました。そのような状況の中で、筑波に進出した研究所の人たちから、中高一貫のいい私立をつくって欲しいという要望が高まり、私たちの同窓会組織である茗溪会が、

校長岡本稔氏の下、教職員14名、中学1年生138名、高校1年生173名でスタートいたしました。

そして私は、私どもの常陽銀行の頭取、会長であった市田禎蔵さんが茗溪学園の設立発起人になっていた関係から、平成7年からこの学園の理事として関わることになりました。

茗溪学園の目指した教育

茗溪学園の目指した教育とはどのようなものだったのでしょうか

西野 茗溪学園創立30周年の時に出版された記念誌『出杭を伸ばせー教育実験校「茗溪学園」プロジェクト』を見ますと、英国から新大陸をめざした清教徒が「アメリカ建国の始祖」と呼ばれているように、岡本校長と14人の教職員が、「茗溪学園建学の始祖」として、準備段階から、「建学の理念」や「教育方針」を練り上げていく様子が生き生きと描かれています。

特に岡本校長が目指した教育は英国のパブリックスクールの教育で、茗溪学園では慶応義塾大学教授であった池田潔氏の「自由と規律」（英国のパブリックスクールで学んだ体験談）が生徒の必読書になりました。また、作家の司馬遼太郎氏は、パブリックスクールは産業革命の時に力をつけた紳士層（ジェントリ層）が自分たちの子弟のために作った学校なので、「仲間立の学校」と解説していますが、茗溪会が設立した茗溪学園も、そういう意味では、茗溪で育った卒業生による「仲間立の学校」といえるかもしれません。

茗溪学園設立40周年に向けた新たな取り組み

茗溪学園はあと4年で創立40周年を迎えます。世界はグローバル化の時代を迎え、わが国の教育も新しい時代への対応が迫られています。茗溪学園はこれからどのような教育をめざしていこうとしているのでしょうか。



五味田 優

百周年の記念事業としてこの地に中等教育の学校を設立することになったのです。昭和54年4月、茗溪学園は初代の

西野 茗溪学園では、創立40周年に先駆けて中長期の計画を策定し、既に先行的に実施している取り組みも生まれています。

主なものをいくつかをご紹介しますと、

まず、茗溪学園の特色である国際理解教育の総仕上げとして、中学に国際学級を開設（平成27年度）すること、高校にIBDP（国際バカロレア・ディプロマ）の制度をつくることが挙げられます。

これはグローバル時代を迎え、世界のトップクラスの大学へ進学できる生徒を数多く育てようという試みで、学園の総力を挙げた取り組みになります。

また、創立40周年を迎えるためにいくつかのプロジェクトも立ち上げました。それは、

- ① V Iデザイン（視覚言語広報）促進プロジェクト
- ② 卒業生との連携及び教育広報促進プロジェクト
- ③ IB（国際バカロレア）対応教育検討プロジェクトなどです。

先ほどお話ししましたように、茗溪学園は茗溪人による「仲間立の学校」です。茗溪会の会員の皆さんにはこれからも力強いご支援をお願いいたします。

茗溪会のさらなる発展を願って

——西野さんのお話にもありましたように、いま茗溪会はさまざまな課題を抱えています。

そこで最後に、140年を超える輝かしい歴史と伝統を持つ茗溪会が今後さらなる発展をしていくためには何が必要なのかをおうかがいして今日のインタビューを閉じたいと思います。

西野 私は冒頭でお話ししましたように、遠回りをして「茗溪会」や「茗溪学園」と深いかわりを持つようになりました。そして浅学菲才の身でありながら、歴史と伝統のある茗溪会の理事長の榮に浴することになり、貴重な経験をさせていただき感謝しています。

茗溪会の理事長は、平成24年5月の定時総会で、茗

溪会の改革に向かってもに取り組んできた江田昌佑さんに引き継ぐことができました。

また茗溪学園理事長も本年7月、旧知の中川喜久治さんに託すことができました。

茗溪会がこれからますます発展していくためには、財政基盤の安定と地域組織の強化が必要です。それができれば、茗溪会は、筑波大学校友会の中にあっても、その存在感を高め、存分に活躍することができるようだと思います。そして出来るだけ早くそういう日が来ることを願っています。

——きょうは、長時間にわたり貴重なお話をうかがうことができて、ありがとうございました。

《インタビューを終えて》

西野さんは、終始笑顔絶やさず、静かな語り口でお話してくださいました。経済人としての幅広いご経験と、それに裏付けられたお話からは、今後の茗溪会のあり方を考える上での重要なヒントをいただきました。

これからも顧問としてのお立場で、さまざまな形でご指導いただきたいと願っています。

なお、今回のインタビューに際しては、茨城茗溪会事務局のご厚意により、西野さんの母校である水戸一高で寛いだ雰囲気の中で取材できました。関係者の皆さんに厚くお礼申し上げます。
(五味田 優)

附記

お断り—文中の名称で、茗溪会は常用漢字、茗溪学園は創立時の旧漢字を採用しております。



《西野虎之介さんの略歴》

- 1953 東京教育大学農学部卒業
- 同年 常陽銀行入行
- 1993 常陽銀行頭取
- 1999 常陽銀行会長

（主な公職歴）

- 茨城県高等学校審議会委員長
- 茨城県公安委員会委員長
- 茨城県総合計画審議会会長
- 茨城県商工会議所連絡会会長
- 全国地方銀行協会副会長



筑波大学は今

つくば駅前に 筑波大学サテライトオフィスオープン！

本学は、9月5日にオープンしたTXつくば駅前の複合商業施設「Biviつくば」2階に、「筑波大学サテライトオフィス」を開設しました。

筑波大学サテライトオフィスでは、本学の情報発信の拠点として、大学に関する情報提供や学内の研究成果を紹介するとともに、つくば市と共用のオープンスペースを利用してさまざまなイベントを開催します。

9月5日、6日にはオープンイベント「儒教美術はじめの一步」を開催。芸術系で実施している湯島聖堂大成殿孔子像の彩色復元像を展示しました。孔子像を題材にしたスケッチや粘土細工のワークショップも実施し、子どもから大人までたくさんの方が参加しました。



守備の要、熊谷紗希選手大活躍！ なでしこジャパンが女子ワールドカップで銀メダル獲得

体育専門学群4年の熊谷紗希選手とOGの安藤梢選手が出場したサッカー女子日本代表（なでしこジャパン）が、女子ワールドカップカナダ大会で銀メダルを獲得しました。

7月6日に行われた決勝戦では、本学体育・芸術エリアの大講義室で、パブリックビューイングを実施。学生

や教職員ら約150人が熱い声援を送りました。アメリカには2対5で破れてしまいましたが、最後まで諦めずにボールを追い続けたなでしこたちに大きな拍手を送り、その健闘をねぎらいました。

熊谷選手は、守備の要として、今大会6試合フル出場の大活躍。安藤選手は、大会初日に骨折をして戦列を離脱しましたが、チームを精神的に支え、存在感を示しました。



熊谷紗希選手



永瀬貴規選手が柔道世界選手権で金メダル！

カザフスタンで行われた柔道世界選手権で、8月27日、永瀬貴規選手（体育専門学群4年）が男子81kg級で金メダルを獲得しました。

弱点と言われた同階級での優勝は日本勢初の快挙。永瀬選手は2度目の挑戦で世界の頂点に立ちました。

昨年の大会は覇者チリキシビリ選手（ジョージア）に敗れて5位。「相手のペースのまま何もできずに終わってしまった」と悔やんでいた永瀬選手は、準決勝で対戦した同選手に対し、終始試合を支配しての優勢勝ち。決勝でも攻めの姿勢を貫き、一昨年の覇者ヒエトリ選手（フランス）を抑え込みで破りました。

また30日に行われた団体戦でも、厳しい戦いを制し、男子団体金メダルに貢献しました。



写真：アフロスポーツ

「夏休み ちよこつと理科クラブ」開催

本学東京キャンパス文京校舎にて、7月26日、小中学生向けの科学イベント「夏休み ちよこつと理科クラブ」を開催しました。本学では毎年4月の科学技術週間に、小中学生向けイベント「キッズ・ユニバーシティ」を筑波キャンパスで開催しています。今回の催しは、東京キャンパスでの初の科学イベントとなりました。当日は、

本学の教員による、植物の果実の実り方と波の伝わり方に関するや実験と観察、隣接する教育の森での昆虫観察会、理科教育専攻の学生の指導による工作教室の他、夏休み自由研究の相談会を実施しました。



高細精医療イノベーション棟が竣工

本学の春日地区に「高細精医療イノベーション棟」が竣工しました。

同棟は、筑波大学と慶應義塾大学が共同提案した文部科学省の「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」（平成24年度）により整備されました。産学官が一つ屋根の下に集い、地域資源等を柔軟に活用しつつ、革新的課題の研究開発に異分野融合体制で取り組む「場」として、持続的なイノベーションや産業・雇用の創出を図ります。また、4階では、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム（OISTREAM）」の「食と健康の達人」拠点（拠点リーダ北海道大学）の筑波大学サテライトとしても活動します。



平成27年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
筑波大	森 嶋 厚 行 (11筑博工)	中 井 央 (10筑博工)
桐医会	山 口 高 史 (55筑医)	
附属校	小 山 浩 (54筑体)	秋 葉 康 浩 (58筑二比)
図情橋会	森 茜 (40図短特養課)	寺 沢 白 雄 (63図大図情修) 大 場 高 志 (51図短特養課) 茂 出 木 理 子 (60図大図情)
北海道	大 沼 寛 (47教大武)	篠 岡 二 朗 (54筑体) 鷗 野 和 憲 (07筑体)
青森	瀧 口 孝 之 (55筑体)	前 田 濟 (59筑一自) 工 藤 誠 司 (09筑体)
岩手	平 藤 淳 (54筑体)	清 水 茂 幸 (62筑修体) 上 演 龍 也 (01筑修体) 澤 村 省 逸 (62筑体)
宮城	井 上 雅 勝 (53筑体)	松 坂 孝 (55筑体) 佐々木 洋 (59筑修環)
秋田	船 木 賢 咲 (49教大武)	小 林 大 輔 (15筑博数)
山形	津 田 浩 (58筑一自)	仁 藤 誠 (02筑体) 羽 角 哲 弘 (04筑体) 芦 野 浩 二 (07筑自)
福島	鈴 木 弘 文 (46教大米)	伊 藤 淳 一 (09筑修教) 渡 辺 兼 綱 (14筑修教) 渡 邊 幹 男 (17筑修教)
茨城	郡 司 文 児 (53筑一人文)	木 城 知 則 (13筑博歴) 川 久 保 典 昭 (12筑修教)
栃木	上 岡 利 夫 (53筑一自)	齋 藤 宏 夫 (58筑修教) 青 木 伸 子 (02筑一自) 宮 澤 昭 二 (02筑一自)
群馬	佐 藤 功 (55筑一自)	紋 谷 清 美 (62筑修教) 田 島 正 徳 (63筑体) 仲 谷 佳 郎 (62筑修教)
埼玉	前 島 富 雄 (47教大農)	平 野 正 美 (54筑二比) 青 木 勇 藤 (55筑一人文) 鈴 木 徹 也 (58筑一自)
千葉	嘉 村 茂 邦 (50教大物)	大 久 保 利 宏 (52教大健) 津 田 亘 彦 (63筑体) 村 田 孝 順 (22筑二生)
学芸大	藤 井 齊 亮 (61筑博教)	中 村 光 一 (01筑博教) 射 手 矢 岬 (61筑修体) 川 崎 誠 司 (08筑博教)
文科省	鈴 木 康 志 (56筑修教)	清 原 洋 一 (60筑博物) 三 橋 浩 志 (02筑修教) 水 谷 尚 人 (06筑修教)
都庁	鯨 岡 廣 隆 (57筑体)	出 張 吉 訓 (57筑二農) 堀 川 勝 史 (61筑体) 青 木 薫 (12筑体)
東京	高 橋 基 之 (53筑一自)	徳 田 安 伸 (55筑二農)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者	
東 京	支部長・代議員 足 立 田 原 章 孝 (51教大心数) 荒 川 井 上 芳 明 (01筑体) 板 橋 竹 村 恭 一 (56筑一自) 大 橋 飯 島 睦 子 (54筑二人間) 葛 飾 渡 邊 悟 (56筑二農) 北 村 松 広 英 (57筑一社会) 江 東 三 保 和 彦 (53筑一自) 新 川 真 当 哲 博 (57筑二人間) 宿 桜 井 一 郎 (55筑一人文) 新 宿 浅 井 一 郎 (55筑一人文) 杉 並 奈 良 隆 (53筑体) 墨 田 大 井 俊 博 (53筑体) 世 田 谷 徳 田 安 伸 (58筑二農) 台 東 柳 久 美 子 (50教大物) 中 央 中 村 穎 司 (35教大國) 千 代 田 竹 内 秀 一 (51教大日史) 千 代 田 戸 谷 賢 司 (48教大物) 豊 島 久 保 淳 (56筑体) 中 野 浦 部 利 明 (56筑一人文) 中 野 池 田 浩 二 (57筑芸) 練 馬 柴 田 誠 (55筑一自) 文 京 高 橋 基 之 (53筑一自) 港 笹 のぶえ (56筑二比) 港 松 村 直 樹 (61筑修環) 目 黒 金 田 喜 明 (56筑一人文) 北 多 摩 北 守 屋 一 幸 (52教大漢) 北 多 摩 南 初 見 一 豊 (52教大農) 西 多 摩 小 林 三 代 次 (51教大英) 八 王 子 石 川 恵 一 郎 (49教大健) 八 王 子 小 島 和 雄 (36教大農)		
	神奈川	清 水 進 一 (43教大数)	矢 野 正 人 (53院修農経) 加 藤 充 洋 (56筑一社会) 中 弥 貴 晴 (51院修農化)
	山梨	菊 島 良 治 (54筑二比)	穴 山 久 樹 (57筑一人文) 北 川 優 (25筑修人間) 葉 袋 愛 (17筑修教)
	長野	小 口 俊 幸 (54筑二比)	梅 村 泰 代 (57筑二比) 御 子 柴 俊 一 (16筑一自) 奥 原 貴 彦 (09筑体)
	新潟	永 井 成 一 (41教大法政)	長 田 裕 (59筑体)
	富山	坪 池 宏 (52筑二人間)	中 村 謙 作 (62筑一自) 庄 司 秀 嗣 (62筑修教) 中 村 典 子 (23筑博数)
	石川	渡 辺 正 実 (53筑体)	松 本 彰 (50教大物) 神 田 康 一 (53筑体) 近 岡 岳 則 (17筑二人間)
	福井	南 部 則 雄 (53筑体)	森 中 明 白 (57筑芸) 牧 田 誠 史 (59筑修教) 木 下 久 仁 雄 (55筑一人文)
	静岡	岩 城 明 (55筑一人文)	丹 治 正 (56筑三社工) 山 田 芳 史 (56筑一自) 稲 葉 絵 美 (19筑一自)
	愛知	高 須 勝 行 (51教大哲)	川 村 昌 宏 (56筑一自) 伊 與 田 万 知 (62筑修教) 米 山 誠 (59筑二比)
	岐阜	丹 羽 章 (53教大農)	居 波 裕 (60筑三情) 岩 木 隆 義 (60筑一自)
	滋賀	町 田 登 (47教大健)	松 林 基 之 (07筑体) 樋 上 弘 之 (06筑修体) 桂 本 尚 樹 (62筑体)
	三重	辻 昭 司 (55筑体)	向 井 俊 哉 (57筑体) 加 藤 英 紀 (15筑一自) 山 北 正 也 (03筑一人文)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
京都	塩 見 均 (47教大数)	川 合 英 之 (56筑体) 川 合 寛 明 (59筑体) 三 橋 利 彦 (58筑体)
大阪	松 本 秀 範 (53院修林)	笹 原 寿 峰 (56筑芸) 中 敷 久 美 子 (59筑芸) 大 橋 一 郎 (62筑体)
兵庫	永 井 邦 治 (54筑体)	林 啓 太 (56筑体) 千 脇 久 美 子 (03筑一自)
奈良	藤 善 尚 憲 (33教大数)	井 上 徳 之 (58筑一自) 岩 佐 泰 造 (13筑体) 栗 本 善 弘 (10筑体)
和歌山	土 肥 二 郎 (57筑一自)	川 口 勝 也 (01筑体) 岡 本 規 (05筑体) 梅 本 将 志 (12筑体)
鳥取	小 倉 健 一 (53筑体)	山 中 洋 介 (58筑体) 山 中 洋 介 (58筑体) 美 多 賀 孝 裕 (10筑体)
島根	松 本 弘 光 (46教大物)	境 英 俊 (59筑修体) 西 村 覚 (01筑修体)
岡山	長 尾 隆 史 (55筑体)	黒 住 伸 吾 (56筑体) 水 川 敬 介 (63筑体) 近 藤 真 妃 (06筑体)
広島	山 成 宣 彦 (40教大健)	大 辻 明 (47教大物) 山 下 勝 也 (58筑体) 井 藤 幹 治 (55筑体)
山口	鍋 井 邦 久 (38教大物)	兼 行 剛 士 (58筑修体) 内 田 忠 範 (57筑体) 藤 井 功 (57筑体)
徳島	安 永 潔 (55筑二農)	池 湖 茂 (58筑二比) 森 誠 一 (05筑修教) 田 北 直 樹 (05筑体)
香川	鶴 岡 英 作 (57筑二生)	渡 辺 浩 司 (03筑体)
愛媛	中 村 光 宏 (55筑体)	山 本 隆 祥 (07筑体) 八 木 俊 博 (57筑体) 森 川 大 和 (17筑二人間)
高知	下 坂 速 人 (53筑体)	手 林 慎 一 (10筑博農) 山 本 英 作 (07筑修地) 野 田 智 洋 (62筑体)
福岡	今 村 勝 人 (53筑体)	加 藤 茂 文 (05筑修体) 鳥 居 奈 緒 美 (63筑体) 兒 島 悟 (07筑体)
佐賀	野 中 通 兼 (53筑体)	松 雪 誉 (61筑体) 山 田 和 人 (05筑体)
長崎	山 口 千 樹 (60筑二生)	渡 邊 孝 経 (59筑体) 朝 長 芳 卓 (08筑博数) 酒 井 美 和 (24筑修教)
熊本	川 上 修 治 (01筑修教)	寺 本 護 (08筑体) 米 田 拓 二 (08筑体) 上 田 晃 裕 (14筑体)
大分	渚 洋 行 (53筑体)	栗 林 正 一 (61筑体) 田 崎 弘 宣 (63筑体)
宮崎	久 松 弘 幸 (55筑一社)	児 玉 洋 一 (02筑三社工) 茅 島 隆 司 (13筑一社会)
鹿児島	原 口 和 哉 (51筑一自)	鹿 倉 貢 (57筑体) 内 倉 昭 文 (59筑一人文) 寺 田 晋 紀 (12筑修教)

伊藤久雄	伊藤信義	伊藤忠一	市川次男	市川清太	磯部一洋	石渡和実	石原麻理恵	石橋義晴	石塚泰明	石川利一	石川孝夫	石川節子	石川俊夫	石井當己	石井みさ	池田馨優	飯村留蔵	飯塚峻	飯田宗映	安蔵復也	荒川昇	荒川龍衛	阿毛久芳	甘利博夫	天野恵司	阿部幸之	阿部孝之	安部一郎	東富雄	浅見高明	旭宏	浅野克己	浅野義尋	朝岡正雄	浅井操	浅井康明	赤堀新一	赤羽新一	青木俊輔	青木旦治	阿江美恵子	阿江通良	会津力	相澤鎮夫																	
岡村雅彦	岡村奏	尾形敬史	岡田敦子	岡崎一雄	岡出美則	大橋信久	大西久江	大塚芳郎	大谷悦久	太田悦人	大関利久	大澤専一	大澤秀利	大沢淑人	大久保昭教	大木都起子	大岡久恵	江本秀明	海老原利子	江畑俊郎	榎本宏	越後谷真悦	加藤澤男	加藤昌佑	加藤好晴	江口幸二	栄沢輝郎	打越真雄	鶴飼武昭	植松克也	岩本孟	岩村雅朗	岩村房夫	岩根延雄	小野喬	小幡正巳	折笠常弘	春日親夫	勝田敬三	勝田茂	春日親夫	栗田裕	栗田子郎	栗田英玄	倉品義昭	隈部直光	熊倉紀男	尾澤達也	長田裕	尾深満	猪股俊二	井口武雄	井上寛	奥山訓近	奥谷多作	奥野三千代	稲毛陽一	伊藤美帆	伊藤健一	伊藤宏	伊藤祐孝
北野日出男	北島瑞男	岸本弘子	岸川章修	菊池欣一	菊島良治	木内侃	菅野弘義	川本太郎	川村好秋	河又恭一	河鍋馨	河手達治	河部良吉	鴨志田妙子	鴨下礼二郎	上条博子	神島達郎	上川路紀久男	金光忠重	兼田昌尚	金谷精	加藤小枝子	加藤洋	加藤年雄	加藤幸二	加藤章	勝屋敬三	勝田茂	春日親夫	栗田裕	栗田子郎	栗田英玄	倉品義昭	隈部直光	熊倉紀男	尾澤達也	長田裕	尾深満	猪股俊二	井口武雄	井上寛	奥山訓近	奥谷多作	奥野三千代	稲毛陽一	伊藤美帆	伊藤健一	伊藤宏	伊藤祐孝												
小松克	小松利夫	小林正貴	小林千洋	小林早苗	小林茂正	小林宏	小林慧歩	小成幸男	後藤恒顕	後藤千恵子	兄玉典子	小島昭英	小島五郎	小島敏昌	小沢智	小坂悦夫	古賀幸子	合田浩之	小池清治	小池一郎	桑原東	桑原洋	桑原実千代	黒羽亮一	栗林幸男	栗林茂	栗田裕	栗田子郎	栗田英玄	倉品義昭	隈部直光	熊倉紀男	尾澤達也	長田裕	尾深満	猪股俊二	井口武雄	井上寛	奥山訓近	奥谷多作	奥野三千代	稲毛陽一	伊藤美帆	伊藤健一	伊藤宏	伊藤祐孝															
島田茂樹	嶋崎ひとみ	洪谷嘉彦	洪谷精一	洪谷達明	洪谷仁司	柴田淳	柴田恵美子	芝崎茂夫	重野孝介	重藤辰治	重田親志	塩井敏治	佐野和夫	佐貫武一	眞田久	眞田永尊	里見弘	佐藤功(新湯)	佐藤成明	佐藤悦郎	佐藤重雄	佐藤義太郎	佐藤伸一	佐々木幸枝	佐々木敏恵	櫻田俊久	桜田仁志	坂本宗弘	坂本信久	坂田信久	酒井洋子	五月女武治	佐伯重幸	齊藤優子	近藤隆	近藤良享	小山弘毅	小山浩	小山恭輔	戸村義典	小宮定志	五味勲二	小松幸子																		
竹島政信	竹沢豊	竹居高嶺	武井敏男	滝下文夫	瀧弘之	高吉俊子	高松信英	高松将	高橋砂織	高橋誠	高野浩司	高野だいわ	鷹野誠三	高野忠夫	高野大二郎	高瀬春雄	高崎修	高木哲也	高木敏夫	高岡正幸	高井力	高井なみ江	瀬島昭三	瀬川真一	清野早苗	須藤健児	鈴木泰全	鈴木良雄	鈴木英全	鈴木勇作	鈴木恕	鈴木武次	助川朋子	杉山浩一郎	杉江つま	杉江由里	庄司学	下山隼	下山晃	立山隆治	立石忠徳	田瀬則雄	清水嘉彦	谷島弘幸																	
中島光廣	永澤正明	長坂晃	永倉到	中神教明	長尾洋子	仲映子	外山滋比古	富田磨紗子	轟良子	朽堀申二	土岐啓介	土井進	寺脇久人	寺島明道	寺岡和子	手塚章	鶴岡陽一	坪根陽子	角田肇	都築功	土屋道生	土屋衷	津田房枝	塚越二郎	丹沢光一	西上勝博	西上武博	仁尾武登	新津武登	奈良昭男	鍋井邦久	中山佳奈恵	中山芳典	中山茂夫	中山麗之助	田中良幸	田中禮三	立山隆治	立石忠徳	田瀬則雄	清水嘉彦	谷島弘幸																			
林建生	早川俊一	濱健夫	羽根田秀美	羽石昌信	花吉洋一	秦迪也	長谷川千都	長谷川三郎	長谷川和夫	萩原昌明	萩元育夫	野村良和	野村洋子	野々村博	野々村淳	野口道子	根本俊樹	根立俊樹	沼田敏	沼田宣子	西村伸平	西野虎之介	西上勝博	西上武博	仁尾武登	新津武登	奈良昭男	鍋井邦久	中山佳奈恵	中山芳典	中山茂夫	中山麗之助	田中良幸	田中禮三	立山隆治	立石忠徳	田瀬則雄	清水嘉彦	谷島弘幸																						
牧野健士	本堂辰雄	堀井郁子	細川馨	星野賢造	不老浩二	古沢一朗	古川彦次	舟崎和誠	布施賢咲	藤森慎	藤本昌男	藤本真道	藤谷秀道	藤末篤二郎	藤江学	藤井茂男	福田生一	福田正義	福田実	福島正幸	深澤宏	深澤整	深澤善次	廣橋義敬	廣川俊男	平林正光	平林盛得	平田雅彦	平田賢治	平澤暢雄	平賀徹	平井静子	樋野文一	樋野俊晴	土方多美枝	比企好弘	春成幸男	原田永喜	原田拓二	原正	原信夫																				
森平礼子	森田信義	森田幸雄	森清寿朗	森内節子	森英俊	望月啓次	望月正	村山勤治	村山勲	村田茂	宮本義久	宮下憲	宮内和雄	宮内完吾	三船新次	峰守秀満	三田浩司	溝口繁美	水野博介	水野義男	水谷義郎	水城忠明	水越三郎	水口浩	三沢ちづ子	三澤義一	三浦幹夫	三浦早江子	松本光弘	松元理	松平英臣	松平嘉幸	松本重明	松川彰	町田登	増田幹夫	増田茂	真砂芳夫	正木隆	政池節子																					
渡邊寛	渡辺さち子	渡辺功(静岡)	渡辺功(長野)	渡辺寿夫	和田尚志	和田豊	脇田俊治	吉田雄三	吉田廣雄	吉川正美	吉尾健太郎	横山由紀子	横山幸三	湯本宣政	結城勝夫	油井福久	山元俊一	山本章雄	山本敬三	山本岩夫	山本正三	山本六夫	山田将之	山田庸夫	山下清海	山下真一	山崎正男	山崎秀雄	山口昌子	山口直行	柳沢均	柳沢嘉信	八ッ田利幸	安田昭子	安田潤	矢沢要輔	守屋尚	森本順子	森元光保	森永滉																					

会費完納会員の皆さまへ

平成27年10月15日

一般社団法人 茗溪会
理事長 江田昌佑

平成28年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、平成26年には1,300人を超え、合計約600万円のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

今年も、9月末日現在で607人の皆様からご協力いただいております。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには平成28年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付を仰ぎ、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円/年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、感謝状及び記念品を既に贈呈しました。その後も贈呈の準備を進めております。

季刊誌『茗溪』正月号に 誌上交流広告掲載ご協力をお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきました、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集してまいりました。次号(1088号)では、「年頭の挨拶」を交わす誌上交流を会員の皆さま全員にお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ふるって、ご応募くださいますようお願い致します。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』正月号(1088号)誌上

上段に「謹賀新年 平成28年 今年もよろしく
お願い致します」のタイトルを標記致します。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を全国の仲間と交流して下さい。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で本部事務局宛ご連絡下さい。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力下さい。
協力金は本部事務局までご送金下さい。

◆原稿等の締切り

平成27年11月20日(金)

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23
茗溪会 事務局 高野 力
TEL 03-3941-0136
FAX 03-3941-7674
E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。



茗溪・東西南北

神奈川茗溪会総会の報告

筑波大学石隈副学長、茗溪会西川副理事長をお迎えして

神奈川茗溪会総会は、本年度も例年通り、7月第一土曜の4日(土)に横浜中華街にあるロイズホテル横浜で開催しました。

今年の総会は、例年と異なり、筑波大学の石隈副学長と茗溪会本部の西川副理事長を来賓としてお迎えし、日頃聞けない大変参考になるお話を聞くことができました。

お二人のご出席は、茗溪会と筑波大学の共同プログラムとして、都道府県茗溪会と大学や本部茗溪会との連携を促進するために実施されているもので、大学・茗溪会のいずれもトップの人が地域との会合に出席する事業の一環としてご出席されたものです。

筑波大学の11の附属学校全体の統括責任者でもある石隈副学長は、従前から神奈川県立総合教育センターの講師などで本県との関わりも深く、筑波大学が現在進めている未来構想大学としての筑波大学の将来と国際バカロレアの導入というテーマでご提言をいただきました。

西川副理事長からは、茗溪会の現状や今後の課題についてお話しいただき、本部と地域との連携の必要性を再認識いたしました。

総会の議案は、①前年度の事業・会計の報告、本年度の事業・予算案の審議、②神奈川茗溪会活動の活性化に向けて、役員構成の改編、組織の拡大の方策、

財源の確保等の懸案についての提案に対して、出席者からの賛成をいただきました。
また、報告事項としては、去る5月21日(土)に行われた第4回茗溪会定時総会について、出席した代議員から報告がありました。

総会の後の懇親会では、石隈副学長は東京の筑波大学大塚キャンパスで、会議があるためご退席されましたが、西川副理事長は川崎高校卒業でもあり、本県と深い関係があることから、懇親会でも会員の皆さんとも和やかに親交を深めていただきました。

今回の出席者は、昭和28年文理卒のお二人の先輩が最高齢で、高師卒の先輩のご出席が無く残念でしたが、筑波大卒まで老若男女が集い、和やかに懇親を深めました。しかし、テーブルを回りながら会員たちと杯を交わす中で、筑波大学出身の会員から、もっと若い人の出席を進めて欲しいという言葉が聞きました。

神奈川茗溪会としては、教員希望の学生に対する支援を、受験前から2次試験対策まで行っており合格者の総会への出席も増加していますが、今後とも、若い会員の出席の更なる促進を進めていきたいと思っています。

総会の内容は、9月に発行する神奈川茗溪会の会報「茗溪かながわ」第7号に掲載し、本県会員の中で連絡のつく約1,300名に送付しました。
神奈川茗溪会 会長 清水 進一(昭43教大教)

平成27年度茗溪会 福岡県支部総会 報告

- (4) 平成27年度支部役員(案)について
- (5) 今村勝人 平成27年度支部長挨拶
- (6) 乾 杯 小林 彰様
- (7) 桐の葉(宣揚歌)

平成27年度は奥山訓近から今村勝人へ支部長が引き継がれ、新体制でのスタートとなった。奥山旧支部長からは、支部運営の協力に対する御礼と今後に期待することが、また今村新支部長からは、今年度の支部運営に対する方針が語られた。

また、本年度総会には茗溪会本部より、江田昌佑理事長をお招きし、貴重な御挨拶を頂いた。その中で、筑波大学の現状や、福岡県出身でラグビー日本代表である、福岡堅樹君をはじめとする学生の活躍などが語られた。さらに茗溪会の会費の納入状況が思わしくないことが課題であり、この現状を打破するためには、各支部組織における会員確保と会費納入促進に一層尽力いただきたいということ、そのためにも、教職員のみならず、企業へ就職した会員の積極的な参加が望まれるという要望があった。

本年度総会は、江田理事長来福のアナウンスを含め、案内を例年より早い時期にしたことなどが功を奏し、教職員関係者だけでなく、一般企業からの参加が目立った。特にラグビー部出身者は、江田理事長とお会いできる貴重な機会であり、理事長の周りには常に人の輪ができ、思い出話に花が咲いていた。

総会を通して、茗溪会会員相互のつながりをさらに強固なものとし、盛会のうちに終了した。



平成27年度茗溪会 熊本支部総会 活動報告

1 日 時 平成27年6月20日(土) 午後5時
2 場 所 熊本交通センターホテル
3 参加者数 36名
4 内 容

- (1) 開 会 (2) 物故者への黙祷
- (3) 茗溪会熊本支部長蔵田勇治あいさつ
- (4) 一般社団法人茗溪会常務理事事務局長高野力様あいさつ
- (5) 平成26年度会務、会計報告
- (6) 平成27年度茗溪会熊本支部役員について
- (7) 写真撮影 (8) 懇 親
- (9) 宣揚歌 (10) 閉 会



平成27年度茗溪会熊本支部総会を開催したところ、一般社団法人茗溪会常務理事事務局長の高野力様に遠方よりご参加いただき、また、6名の新会員の初参加もあり、合計36名参加の例年にない盛会となった。

蔵田勇治(昭和52年・教大体卒)支部長のあいさつに続き、高野常務理事事務局長様からも現況報告を交えたごあいさつをいただいた。高野

様からは茗溪会の現在の状況や課題について、並びにこれまでの茗溪会の歩み・歴史について丁寧に分かりやすくご説明をいただき、熊本という地方の支部にとってはなかなか得られることのできない貴重で最新の情報をいただくことができ、大変有意義であった。特に若手の会員にとっては「茗溪」の歴史と伝統について理解を深めるまたとない機会となり、「茗溪にこれほどの歴史の積み重ねがあるということを知らなかった。」先輩方から貴重な話をたくさん聞くことができ、総会に参加して良かった。」等の声があった。

また、総会の議事で役員改選が行われ、新支部長として川上修治(平成元年・筑院修教卒)が決定した。懇親会も大いに盛り上がり、各テーブルにおいて学生時代の懐かしい思い出を肴にした会話が飛び交っていた。これまで長きにわたり熊本支部の総会及び新年会の会場としてお世話になった熊本交通センターホテルも平成27年6月末で閉館となるため、寂しい思いも持ちつつも、平成28年1月末の新年会での再会を約束し閉会となった。

平成27年度茗溪会 愛知支部主催 講演会・総会・懇親会報告

7月5日(日)午後4時から名古屋市のルブラ王山にて、東京教育大学出身で日展理事の山本眞輔先生を講師として、支部主催講演会を開催した。先生の講演は、彫刻と彫塑の違いに関する説明から始まった。まず、先生の専門である彫塑は、一般には彫刻というくりの中で捉えられているとのことであるが、実際は、彫刻とは、木や石など硬い素材を彫り刻む技法をいい、彫塑は粘土などの可塑性素材を盛りつけて形を作る技法であると指摘された。先生はこのようにして、私たちの陥りがちな誤解を解くと同時に、彫塑の魅力を熱く語り始めた。

先生は講演の中で、芸術作品の持つ力について、専門的、芸術的な話をされたが、その範囲を超えて、教育や人生のあり方についても熱意をもって話をされ、その内

容は示唆に富み、大変有意義なものとなった。特に印象に残ったのは次の点である。

人間は理性と感性から成り立っており、普段見落とされがちな感性の部分に焦点を当てその部分を伸ばすことの大切さを力説された。簡単な絵を提示され、その絵から得る、大人と子供の発想を比較し、いかに子供の発想が豊かであるかを明確に示すことよって、今の教育に何が欠落しているかを私たちに教えようと言われていた。

先生の語りは終始熱気を帯び、彫塑の魅力に始まり、人生や教育のあり方についての示唆に富む内容が随所に盛り込まれていた。会場に集まった会員からは惜しみない感謝の拍手が起り、講演は終了した。

講演会に続いて、午後5時から支部総会を行った。鳥山支部長の挨拶に続き、高野事務局長からご挨拶をいただいた。本年度は新支部長を選出する年であり、鳥山支部長から、新支部長として高須先生を選出したいという旨の議事が提案され、満場一致で承認された。その後、高須新支部長が挨拶をのべ、茗溪会愛知支部のさらなる発展を決意された。

総会の後、講師の山本先生や高野事務局長にも出席していただき、今年度も100名を超える会員が参加して懇親を深めることができ、非常に盛況であった。



茗溪学園だより

茗溪学園が目指す生徒像

本校では、国際バカロレア(IB)のディプロマ(DP)課程開設に向けて、準備を進めています(現在は「IB候補校」、2017年開始の計画)。今年度は高校のIB課程に繋げるG(グローバル)コースを中学に設置し、30名ほどの生徒がそのコースで学んでいます。そして、この新たなチャレンジに当たり、IB教育の良さを取り込んで茗溪教育のさらなる発展・展開を期して、茗溪学園が目指す7つの生徒像を掲げました。

世界を舞台に存分に活躍する、そのための基礎をつくる場、それが茗溪学園です。その茗溪生活の中で培われる生徒像とは…

目標とする7つの生徒像

① 田代淳一 新校長は、在校生に向けて次の7つを呼びかけました。

① 探究する生徒 **Inquirer**
記憶力を競うのではなく、疑問点を探し、調べ直し、発表し、討論する。これら一連の学習方法を身に付けることが中学高校での本来の学びです。

② 知識豊かな生徒 **Knowledgeable**

知識を活用する力(「知恵」)が、数多くの「フィールドワーク」から、体験的に蓄えられていきます

③ コミュニケーションの上手な生徒 **Communicator**

人と人とが通じ合うためには、訓練が必要です。相手を理解する力、自分を伝える力、日常的にこれらを養う場が茗溪にはあります。

④ 心を開ける生徒 **Open-minded**

世界に目を向け、相手を受け入れ理解する偏見のない開かれた心を、様々な国際交流を通して涵養します

⑤ 心と体のバランスのとれた生徒 **Balanced**

体力も気力も学力も、忍耐力も想像力も、バランスの取れた健康なからだに宿ります。芸術やスポーツに親しむ生活は、豊かな感受性を育んでいきます。

⑥ 挑戦する生徒 **Risk-taker**

失敗を恐れず挑戦する力。失敗しても、もう一度やってみる。工夫して成功するまで努力を繰り返す体験的な訓練を積み重ねることで養われます。本校には、互いに支えあう仲間もいます。

⑦ 自分の考えを持てる生徒 **Thinker**

研究し分析して自分の考えが持てる人となれ。それには、考え抜く姿勢が必要です。この姿勢が、未来を切り拓きます。

これらは、IBの掲げる10の学習者像(learner profile)

から抜粋したものです。本校の建学の理念や教育の5本柱として掲げてきたものと相通するもので、改めて示しました。新たな発展・展開、さらなる成長を目指して生徒・教職員一同邁進してまいります。

WELCOME TO MEIKI

国際交流が盛んな本校では積極的に交流機会を設けていますが、9月には南半球の高校生が来校、授業やホームステイなどを通じた交流が行われました。

9月23～28日には、ニュージーランドのネルソンカレッジとネルソン女子カレッジから20名の生徒が、続いて9月26～30日には、オーストラリアのセントジョセフカレッジ(男子校)生徒20名がやってきました。交流の進め方は、それぞれ茗溪生とバディを組み、行動を共にして授業などに参加するものです。相互交流が行われていますが、互いの文化の理解が年々深まっています。



夏の活動と活躍紹介

〈部活動〉

- ◎高校ラグビー部全国3位・全国7人制ラグビー大会(会場:長野県菅平高原)=2年連続2回目の出場、得意の展開ラグビーで準決勝進出。優勝した東海大仰星高(大阪)に敗れ3位となる。
- ◎中学ラグビー部全国6位=第6回全国中学ラグビー大会(会場:茨城県水戸市)に5回目の出場。2度目の全国優勝を目指したが、初戦で東海大仰星中学(大阪)に敗れ、敗者戦にまわり6位となった。
- ◎中学全国大会(函館開催)出場:
 - ・男子バドミントン部(団体)=2年連続出場
 - ・女子柔道部(団体・個人)=全国大会初出場・個人戦ベスト16



全国大会(函館)出場の女子柔道部員:3名の部員で県大会無敵で全国大会出場を果たす

- ◎インターハイ(IH・全国高校総合体育大会、近畿開催)・水泳(飛び込み)=「シンクロナイズド飛び込み」関東ブロックチームの一員として全国3位(飛び込みの県代表として10月の国体(和歌山)にも出場)・剣道=女子個人ベスト16、器械体操=女子個人
- ◎アジアロプスキッピング:個人フリー2位
- ◎科学部生物班=Global Science Link Singapore 出場(国内3位、英語での発表、ホタル研究で新説発表)



科学部無線班=全国ARDF大会中学団体1位、アジア大会出場

- ◎全国総文祭出場:書道部

〈高校1年臨海訓練〉

千葉県岩井海岸で行われた臨海訓練(「4キロ皆泳」行事)は、天候に恵まれ、参加生徒258名中255名が完泳。

◆平成26年度 東教大『三十二会』東京大会

と き 平成26年11月13日(木)
 ところ 東京ステーションホテル

歴史的建造物として復元され、100年の歴史を誇るホテルの内覧を記念行事として行い、その後、宴会場「鳳凰の間」に於いて参加者36名(内 女性4名)で開催されました。東教大「三十二会(みとにかい)」は昭和32年東京教育大学体育学部卒の同窓生が、平成7年に「還暦」を契機に始めた集まりです。本年まで20年14回を重ね、皆「傘寿」を迎える歳となり、残念ですが、今年を最後とすることにしました。

残金は幹事で相談し、平成27年発刊予定の『東京教育大学体育学部の歩み—戦後体育の模索と探求—』を購入し、会員全員一冊ずつ記念に持つことにしました。

幹事：鯨井政信



第14回 平成26年度 東京教育大学 三十二会(東京大会) 東京駅ステーションホテル 11月13日

◆大塚人文地理学OB会

と き 平成27年6月28日(日)
 ところ アルカディア市ヶ谷(私学会館)

東京文理科大学・東京教育大学・筑波大学で人文地理学を学び、大学その他で研究と教育に携わってきた60歳以上の関東在住者を中心とした交流会で21名が参加しました。参加者の活力と地理学に対する変わらぬ熱意に、大いにもりあげりました。

写真：内山幸久 記：田林 明



◆言語学科ミニOB会

と き 平成27年7月2日(木)～3日(金)
 ところ メルパルク横浜

一昨年・昨年に引き続いて言語学科ミニOB会が開かれ、8人の同窓生が参加した。昭和34年(2人)・35年(3人)・36年(3人)卒業の面々である。場所は横浜中華街近くのメルパルク。当初は13人の参加が見込まれたが諸事情が生じて5人が不参加となった。来年は可能なら茗溪会館で開催される見込み。

記：岩佐晴夫

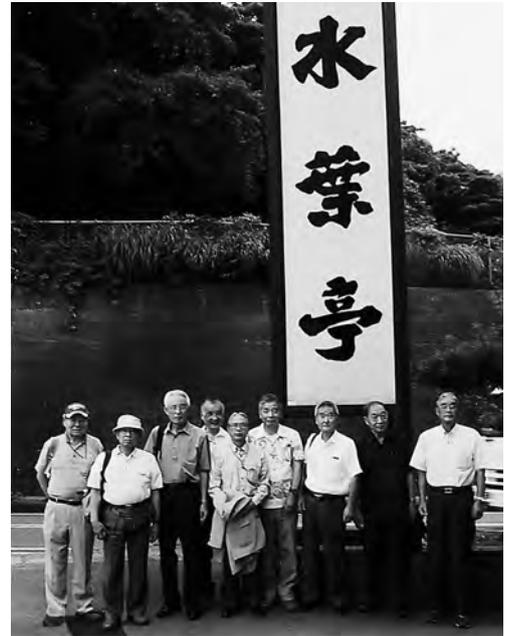


◆三六会(昭和36年 東京教育大学農学部林学科卒)

と き 平成27年7月12日(日)
 ところ 熱海 水葉亭

毎年開催していますが、日帰りでは時間切れとなるので今回一泊で夜通し語り明かそうと11名参加のもと開催。9回の実習の楽しい思い出、当時歌った歌など楽しい夜を過ごしました。

幹事：田村正義



◆卒業60周年記念 昭和30年卒数学科クラス会

と き 平成27年6月29日(月)
 ところ 林野会館

高齢化のため、残念ですが、今年のクラス会をもって最後とすることにしました。平成15年8年ぶりに開催してから、今年まで毎年実施して来ました。宣揚歌をみんなで歌って、名残を惜しみながら解散しました。

茗荷谷駅と会場との往復は、キャンパス跡地の教育の森公園をみんな一緒に歩きました。

幹事：窪田 騰



◆東京教育大学 アーチェリー部OB会 忘年会

と き 平成26年12月23日(火)
 ところ 聘珍樓横浜本店

恒例の忘年会を横浜中華街で行った。今回は全日本学生アーチェリー連盟の委員長をなさった清水氏が、焼津から駆けつけて下さり、昔話に花が咲いた。参加者16名。

文責：川島輝雄



追 悼 録 (敬称略)

佐藤 昭二 筑波大学名誉教授 27・7・12
〒160-0011 新宿区若葉町1-14 妻 佐藤美恵子

林 信義 16・文四 27・5・6
〒061-3211 石狩市花川北一条1丁目2-37 長女 場崎 朝子

清水馨八郎 16・文四 27・5・4
〒169-0074 新宿区北新宿3-4-5 妻 清水 澄子

太田 静樹 17・文一 27・6・30
〒630-8002 奈良市二条町1-1-45 長女 太田まり子

坂田康一郎 18・文四 27・8・7
〒675-0007 加古川市神野町西之山荒ヶ瀬203-1 次男 坂田 敏郎

栗田 英玄 20・農教 27・7・5
〒390-0311 松本市水汲254 妻 栗田恵美子

堀 房夫 22・理一 27・6・29
〒500-8455 岐阜市加納栄町通6-8 妻 堀 恵美子

岡野 康吉 22・臨教 27・6・29
〒116-0002 荒川区荒川6-50-3 妻 岡野 輝子

永谷 在 20・大地鉦 26・11・18
〒445-0886 西尾市針曾根町北側55 次男 永谷 基

鈴木 良雄 23・理四 27・8・19
〒179-0083 練馬区平和台3-6-12 妻 鈴木 正子

藤木達三郎 24・文四 27・6・29
〒176-0014 練馬区豊玉南1-20-3 妻 藤木 弘枝

中村 璋八 26・大漢 27・6・2
〒156-0043 世田谷区松原6-27-22 妻 中村 敏子

伊藤 利定 26・文一 26・10・11
〒390-0821 松本市筑摩2-24-25 長男 伊藤 洋一

小関 辰巳 26・文四 27・5・6
〒215-0014 川崎市麻生区白山5-1-8-308 妻 小関 京

大野 順一 27・理三 27・4・27
〒215-0003 川崎市麻生区高石2-31-3 妻 大野富美子

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

木村 善保 27・理三 27・7・3
〒124-0021 葛飾区細田3-35-9 妻 木村 淑子

蓮田 光雄 27・農教 27・8・5
〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新宿1265-2 妻 蓮田夫佐代

片岡 紀明 28・教大哲 27・5・21
〒179-0085 練馬区早宮3-38-12 妻 片岡美代子

湯本 眞哉 29・教大動 27・6・27
〒982-0801 仙台市太白区八木山本町2-13-18 妻 湯本 富子

田村 宏 30・教大健 27・5・21
〒010-0041 秋田市広面野添78-3 妻 田村 知子

石川依久子 31・教大植 27・5・29
〒182-0035 調布市上石原3-60-2-402 長男 石川 顕

内川 昌時 31・教大林 27・8・7
〒186-0011 国立市谷保5800-2 長女 吉田 知子

小松 堯 31・教大林 27・7・26
〒509-9132 中津川市茄子川790-3 妻 小松 陸子

伊沢 誠雄 33・教大地 27・8・10
〒359-0025 所沢市上安松574 妻 伊沢 洋子

猪股 俊二 33・教大健 26・8・20
〒284-0001 四街道市大日470-60 妻 猪股 初江

戸坂 秀男 34・教大体 27・5・9
〒322-0305 鹿沼市口栗野762 長男 戸坂 秀一

織田 元泰 36・教大日史 27・7・4
〒422-8041 静岡市駿河区中田2-5-11 妻 織田 矩子

小野 光夫 37・教大地 26・8・24
〒203-0032 東久留米市前沢5-28-1 妻 小野千香子

清山 千春 57・筑体 27・7・22
〒300-0501 稲敷市鳩崎32 長男 清山 剛

著 書 紹 介

最後の博物学者
アレクサンダー・フォン・フンボルトの生涯
著 者…佐々木 博(33教大地理 40院博地理)

筑波大学名誉教授

本の大きさ…A5判 二七五ページ 五、四〇〇円

出版 社…古今書院 二〇一五年八月三日発行

本書は、田村百代との共訳でフンボルトを紹介してから約30年間、フンボルトに取り付かれたフンボルト(財団研究員)による執念の一作である。フンボルト研究が主流の中で、学説史研究は定年後の手すさびと見做され勝ちな分野である。しかし、それを実践する人は少ない。著者は立正大学、筑波大学、目白大学で、フィールドワーク研究をする片わら、フンボルトへの関心を持続し、紀要等に発表して来た。フンボルトへの著作化が本格化したのは、定年後の73歳以降であり、都内の大学図書館での資料収集の成果をも取入れた伝記である。

今なぜフンボルトか? から執筆し、灰色で友だちもいない幼少期、四つの大学での勉学、鉦山官時代(ゲートとシライ、ベルリン大学を創設した兄のフンボルト評は人間性に言及している)、母の死により得た莫大な遺産を活用した海外探検へのもくろみ、アメリカ探検旅行、ロシア・中央アジア探検、独身を通じた晩年の孤独に耐えた生活など、興味尽きない題材を書き進めた好著である。御一読を乞う。

大嶽幸彦(41教大地理、48院博地理、上越教育大学名誉教授)

ジョークで楽しむ英文法再入門

著 者…豊田一男(37教大英文)

本の大きさ…A5判 四四八ページ 二、九〇〇円

出版 社…開拓社

ともかく大人が読んで面白い、英語ができて(文法なんかわかってる!)できない(もういっぺん勉強してみるか!)向きにも、お買いになって絶対損はさせません。これは冗談ではない。どのページから読んでもニヤリ、クスリ、ウンウン、時にヤラレタである。例文にはジョークだけでなく寸鉄人を刺す名言の類も多いからである。ただよほど気をつけないと面白くて今何の勉強をしているのか忘れてしまう。とは言っても文法書としても、奇をてらわず年配者にもよく分かる項目立てで安心して読める使い易さがある。世に英語屋はあまた居るが、これだけ彫大な面白い例文を収集・整理・分類できるのはこの道を50年「真面目に」歩んで来たこの著者だけだろう。

浅羽亮一(32年教大英文)

平成27年10月15日

平成28・29年度 代議員選挙公示

一般財団法人茗溪会 選挙管理委員会

定款では、代議員が法律上の社員となり社員総会の議決権を持つと定められており、代議員の選任は全正会員からの立候補及び推薦による候補者を全正会員の投票により選出することになっております。代議員選挙規程に基づき下記の通り選挙を実施します。

記

- 1 代議員定数110人（平成27年4月1日現在正会員数による）
- 2 立候補手続き（①立候補者）
 - (1) 立候補資格…本会正会員（最近2年間の会費納入者または完納者）
 - (2) 立候補の条件…所属する地域組織等の3名以上の正会員の推薦
 - (3) 手続き…立候補届（様式6-1）を所属の地域組織等の長に提出
 - (4) 立候補締切り…11月6日（金）
- 3 推薦手続（②推薦候補者）
 - (1) 被推薦者の資格…本会の正会員
 - (2) 推薦の条件…正会員3名以上の推薦
 - (3) 手続き…候補者推薦書（様式6-2）を地域組織等の長に提出
- 4 支部とりまとめ
 - (1) 地域組織等の長は候補者名簿（様式7）を選挙管理委員会に提出
 - (2) 提出期限（地域組織等から本部へ）…11月20日（金）
- 5 候補者名簿 季刊誌「茗溪」正月号に同封、投票用紙を郵送。候補者数が代議員定数以内の時は候補者をもって当選とする。
- 6 投票…正会員は、投票用紙を選挙管理委員会宛てに郵送する。投票メット…2月10日
- 7 当選代議員公示…季刊誌「茗溪」春号に掲載

今後の地域組織総会の開催について

組織名	実施日	講演会の予定
京都	11/21(土)	NHKステラ事業部長 小林千洋氏
宮城	11/21(土)	講演会は隔年
東京	11/29(日)	NHKニュースウォッチナイン 気象キャスター 井田寛子氏(予定)

「筑波大学新聞」10月号を同封します

昨年引き続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

- 前号（平成27年夏号）で誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
- P 24 追悼録 岡田隆行氏の住所
（正）墨田区緑2-5-8（誤）25-8
 - P 24（正）鍛方建一郎（誤）鍛形建一郎
 - P 24（正）鍛方いつ子（誤）鍛形いつ子

表紙の言葉 デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

茗溪会館がリニューアルして、9月3日に、オープンした。それに先立つ9月1日、2日とオープンパーティーが盛大に催された。写真は2日、茗溪会関係者及び近隣の町内会や大学、企業等の方々に招いて行われた時のものである。

写真には参加者の半数しか写っていないが、多くの方々にお集りいただいたという。腕だけで失礼だが、乾杯は茗溪会館にゆかりの深い図書文化社長による。

1階にはオープンカフェも出来た。是非、多くの皆様のご活用をお願いしたい。今回は撮影者というより副理事長としてのコメントになった。

編集後記

・本号から6回連続で、筑波大学附属学校についてシリーズで掲載致します。第1回は筑波大学副学長・附属学校教育局長の石隈利紀先生から「国立大学法人筑波大学附属11校の紹介」という原稿をいただきました。

第1回目の学校として附属小学校から原稿をいただきました。これから毎号2校ずつ紹介してまいりますのでご期待下さい。

・本会前理事長の西野虎之介さんに茗溪会理事長としての想い出や将来の展望等について本会の五味田優理事がインタビューいたしましたものを、4ページにまとめました。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡下さい。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

平成27年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 03-3941-1133

TEL 03-3941-1366

FAX 03-3941-7674

Email info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 00150-24977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・大学会館内

TEL 029-850-1044

FAX 029-850-1045

Email tsu3inu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口1-39-10

山浦印刷株式会社



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO

Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当：上席執行役員秘書室長 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

☆24時間営業

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます



asics

IT'S A BIG WORLD. GO RUN IT.

ASICS.COM

～筑波大学発ベンチャー～

つくば

ウエルネスリサーチは

暮らすことで「健幸」になるまちづくり

スマートウエルネスシティ(SWC)構想を

進めています!

〒277-8519

柏市若柴178番地4 KOIL505

Tel: 04-7197-2360



予告

公開講座

(1) 東京地区

日時：平成27年11月14日(土)

午後2時～3時30分

場所：御茶の水女子大学共通講義棟 2号館201号室

講師：熊倉功夫先生

(静岡文化芸術大学 学長
和食文化国民会議 会長)

テーマ：「茶の湯にみる和食文化」

(2) 筑波地区 本年度は終了しました。

顕彰式

日時：平成27年11月28日(土)

午前11時半～

場所：筑波大学 大学会館
マルチメディア ルーム

筑波大学 学園祭(雙峰祭)

日時 平成27年

11月6日(金)～8日(日)

8日(日) 後夜祭

11月7日(土)に、ホームカミングデーを開催する予定です。



株式会社 阿部兄弟建築事務所

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人 (昭和57年 建築士)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120



相続・法人設立・ビザ etc...

行政書士 高谷真一事務所

〒300-0826 土浦市小松ヶ丘町3番15号
TEL&FAX 029-821-8177

代表 高谷 真一 (平20筑修ピジ)



スキューバダイビングのアセントツアー

東京都知事登録旅行業3-3443号

東京都港区赤坂6-13-19-502 03-3560-3381

取締役社長 川上 雄祐 (昭和45年 農芸化学卒)

<http://ascent.co.jp/> kawakami@ascent.co.jp

経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士

株東京科学光芸社

茗溪会館写真スタジオ

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23
茗溪会館3階

TEL 03-3945-9390 FAX 03-3945-9392

聖徳大学 文学部

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬55

電話 047-365-1111(代表)

E-mail: akifuji@seitoku.ac.jp

学部長 藤原 保明 (昭48教修英 平3筑博文言)



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋
URL: <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪2-5-4
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1226

スポーツ選手、文化人のマネジメント&キャスティング
トレーニングジム、鍼灸整骨院、デイサービスの運営

株式会社 スポーツカンパニージャパン

〒590-0412 大阪府泉南郡熊取町紺屋2-21-17
TEL 072-452-0030 <http://tachiryugym.com>

代表取締役 藤田 文武 (筑波大体育 2004卒)
fujita@sportscompany.co.jp



永井建設株式会社

〒273-0115 千葉県鎌ヶ谷市東道野辺3-1-7
電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940

営業部長 高野 力 (昭48教大木工)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)1578

常務執行役員 楢岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修に

ご家族で、お仲間

最大収容180名、お一人3,700円から

茗溪会員とご家族に割引あり

研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に

シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室(120・40名)

和室も研修室として利用可(20畳、10畳)

館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車

●バス/「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車

徒歩8分 ●つくば駅からタクシー/5分

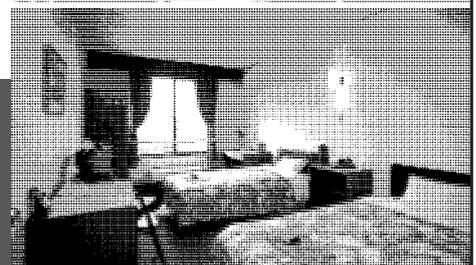
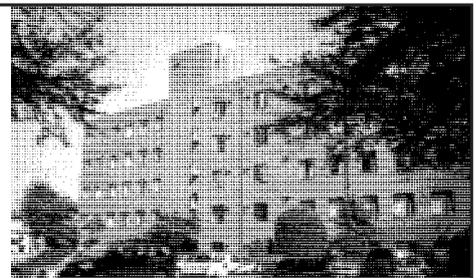
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒308-0008 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp



独身男性、必読です。

結婚への黄金ルート

ご婚約カップルが直接書き込むメッセージは、
結婚への価値ある情報です。

ご婚約・ご結婚カップル・ご両親の真実の言葉。
ホームページ(2015年8月、35周年を記念し一新)の
“実績”にアクセス、信頼性を確認できます。

ご婚約

検索

キュービッドは慶應義塾大学OB会の親睦パーティから発足して35年。結婚を誠実にお考えの方限定の会員制クラブです。

■お問い合わせはお電話でもどうぞ。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

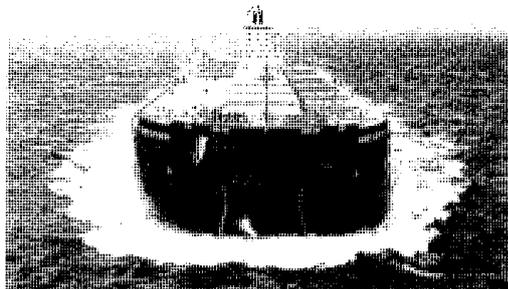
※入会に際して審査があります。



one by one サービスの会員制クラブ

Cupid Club

Ships 21 Co., Ltd.
shipbrokers



外航大型貨物船・タンカー等の備船・売買の仲介
海運コンサルタント

世界中のマーケットと直結して日本のそして世界の
海運業に貢献すべく。 体力・気力があり、英語が
堪能な若い方、興味があったら来てどんな仕事か見
てみませんか。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-10 仙石山アートハウス

TEL: 03-3438-2351 shipsuz@ships21.co.jp

代表: 鈴木 進 1973年東京教育大学理学部動物学教室卒

現: 筑波大学ラグビー部OB会、副会長



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群(2016年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 三谷 高康
入試事務室相談役 川田 孝一(昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

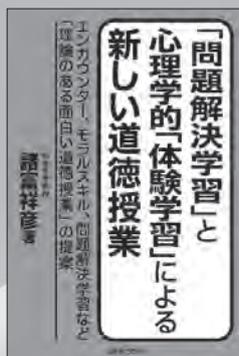
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



「教科化」以降の道德授業への提案

「問題解決学習」と 心理学的「体験学習」による 新しい道德授業

エンカウンター、モラルスキル、問題解決学習など
「理論のある面白い道德授業」の提案



明治大学教授 諸富祥彦 著
四六判 240頁 本体1,800円+税

目次 第I部 理論編

- 1▶これが新しい道德授業だ! これまでと何が違ってくるのか
—「価値を教える道德」から
「総合的な道德的資質・能力を育てる道德」へ
- 2▶年に一度は「魂に響く授業」を
- 3▶「授業のねらい」を明確に—授業構成の基本
- 4▶「畏敬の念」の道德授業—スピリチュアリティの道德授業
- 5▶生と死を超える「いのち」の道德授業
(より深い「生命尊重」の授業)
- 6▶ほんものの「自己肯定感」を育てる道德授業

第II部 実践編

- 7▶「問題解決的な道德学習」の考え方と実践
- 8▶心理学の手法を用いた「体験的な道德学習」①
—エンカウンター
- 9▶心理学の手法を用いた「体験的な道德学習」②
—価値の明確化
- 10▶心理学の手法を用いた「体験的な道德学習」③
—モラル・スキル・トレーニング

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
<http://www.toshobunka.co.jp/>

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519
ブックライナーで注文可 ☎0120-39-8899

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

- ◆寮のある学校です
- ◆Study Skillsを評価し伸ばす学校です
- ◆海外大学進学も選択肢にできます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です



平成28年度茗溪学園入学試験日程

- ◎中学グローバルコースAO入試
11月より受付開始
(詳細はお問い合わせください)
- 12月20日(日) 中学推薦入試
海外枠入試(中学・高校)
- 1月 9日(土) 高校推薦入試
- 1月10日(日) 中学一般入試第1回
- 1月26日(火) 中学一般入試第2回
高校一般入試



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)